

Japanese Society of Commercial Space Designers
社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会
〒550 大阪市西区南堀江1-26-27 南堀江スカイハイツ1201号
TEL. 06-543-0680 FAX. 06-541-0064



April 24 '93
M. elita

三ノ丸
白鷺
城
ほろり

目 次

◇表紙 ('93.04.24 姫路城・るるぶ会より)	太田 眞昭	表紙
◇随筆	信貴 徳三	3
◇大菅評議員 大阪府知事産業功労賞受賞	杉山 栄一・野村 武彦	4
◇寄稿 現在に生きる悠久の響き「雅楽」	安倍 秀昌	5
◇WORLD・REPORT ミラノ(イタリア)	野井 成正	6~7
◇'93 JCD関西支部 水上ビアパーティ	南原 利廣	8
◇談話室・ショー環境拝見	神戸 一生	9
◇どうするか? JCD活性	要 信行・理事	10~11
◇論客 古画(巻物・屏風)に観る商環境・その3	小宮 容一	12~13
◇論客 人間の行動様式と商環境-2	宮崎 鋪輔	14~15
◇業界の4半世紀	久保 茂	16~17
◇こだわり【一保堂茶舗】京都	西澤 嘉信・水野 修士・小宮 容一	18
【サンボア パー】大阪	(取材) 里吉 明・水野 修士	19
◇教えたり=教えられたり【新しいカリキュラムのもとで】	太田 眞昭	20
◇遊・HOBBY【海に出ませんか!】	藤永 肇	21
【海中は驚きの世界!】	馬田 勲	21
◇私の失敗談 ●設備設計監理に注意 ●	渡辺 彰	22
●仕事を失うまでに至った失敗例 二題 ●	吉岡 憲司	22
◇北陸支部だより	小野木 裕	23
◇JCD関西 新入会員のご紹介	関西支部	24
◇企業紹介	東芝ライテック(株)	25
.....	ボディソニック(株)	25
◇INFORMATION 理事会臨時報告	武石 馨	26
賛助会員懇談会・合同委員会報告	原田 隆夫	26
◇COMENT	里吉 明	27
◇編集後記	小宮グループ	裏表紙

JCD関西支部
情報委員会

担当理事	山田 悦央
委員長	里吉 明
副委員長	小宮 容一
	岡 修作
	猪多 勉
	畑中 敏行
	荒畑 肇
	横山 嘉夫
副委員長	原田 隆夫
	宮崎 鋪輔
	広瀬 勝彦
	村井 修二
	豊田 文生
副委員長	横山 和夫
	水野 修二
	吉田 博文
	友田みのり
	間澤 良行
ヘッド	太田 貞
	久保田博文
	大石 淳
	見崎 征之
	岩澤 吉恭
	板垣 順治

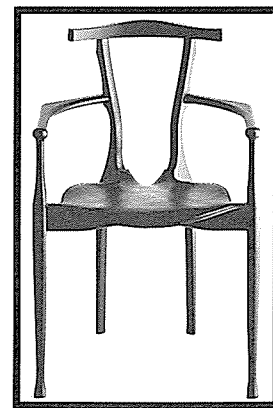
◎ 広告掲載企業

(株)モーリショップ (2)	(株) ヤ マ ス (15)	マックスレイ(株) (23)
小泉産業(株) (6)	ボディソニック(株) (17)	(株) タジマ (26)
(株)キノシタ (9)	A B C 商会 (18)	松下電工 (27)
エルエスアイ(株) (11)	東芝ライテック(株) (19)	ロイヤル (28)
大光電気(株) (12)	東 リ (株) (20)	

Barcelona Hots. GAULINO

ミラノにもニューヨークにもない「乾いたぬもり」が
木と革という素材から醸し出される。
生みの親であるオスカル・ツスケツは
ガウディとカルノ・モリーノに敬意を表し、
“ガウリーノ(スペイン語で海に棲む怪魚)”と名付け、
椅子の普遍的な美しさを、そのフォルムにこめた。
彼の想いは、何も知らない者にも郷愁と新鮮を呼び起こす形になったのである。
バルセロナ発、懐かしい新しさ。ガウリーノ。

Gaulino



アームチェア(¥109,000)
(消費税別)
スタッキング可能。

株式会社 **モーリショップ**

本社 〒550 大阪市西区南堀江 1-15-9 ☎06(533)3461
東京支店 〒107 東京都港区北青山2-11-9青山赤塚ビル ☎03(5474)1017

●東京ショールーム ☎03(587)0395
●横浜ショールーム ☎045(314)7861
●名古屋ショールーム ☎052(971)0100

●大阪ショールーム ☎06(538)3461
●大阪東ショールーム ☎06(356)1550
●梅田ショールーム ☎06(347)7411



JCD KANSAIの前月号に活字ミスがあり申し訳ありません！と情報委員長からのお電話がありました。何の事か分かりませんでしたので、とにかく夕食を共にしようと電話を切りました。心齋橋の吉々(杉本貴志君の作品)で約20年振りで里吉君と乾杯しました。船場SCの笹木所長さんの文章中、私の名前の活字を間違えたと言う事でした。

あらゆる会をご辞退申し上げてから約20年になりますが、その中にJCDもSDAも入っています。但し、JIDAだけは昭和29年に設立発起人の一人ですので、これだけは致し方なく辞めることは出来ませんでした。JCDの今西さんや山家さんとはロータリークラブでよく食事を共にしましたが、これも辞めて野に下りました。

JCD賞は2回戴いた記憶があります。1975年(昭和50年)JCD教室が開催されて講師で何かお話させていただきました。商業空間という機関誌にも何か書きました。こういう思いでありますと情報委員長に申しましたら、「何か楽しく書いて下さい。」との事で、私どもの人生を三つに分割して今までの歩んできた道を書く事にしました。

戦争が終わるまで命懸けで3年近く軍国主義の真っ只中におりましたから、復員するまでの思想は申すまでもありません。戦後は右往左往しました。易者に見てもらったら「あなたは軍人か僧侶か芸術家、この三つの人生以外ない！」と宣言されました。先ず、戦前の軍人は外して、坊主、これもお寺をもっていないので諦めましたが、インド哲学やサンスクリットは面白く勉強しました。残りの一つの芸術では食べていけないので電通の企画局というところに籍を置きました。そこで勝見 勝氏(故人)や新井 静一郎氏(故人)に会い、人生が変わりました。戦後10年間何とかフラフラ歩いてましたから、昭和29年にデザイン協会が出来るというのでとにかく参加しました。亀倉 雄策さん、柳 宗理さん、剣持 勇さん(故人)、渡辺 力さん、当時学生だった栄久庵 憲司君らがおられ、これが今のJIDA(日本インダストリアルデザイナー協会)です。昨年40周年でしたので40年間も会費を払った事になります。

サラリーマンは向かないと易者に言われたのをまともに受けて電通から独立したのが丁度昭和30年ですから、独り立ちしてからも40年間現役のままです。独立して5、6年した時JCDが創立されました。昭和30年から昭和40年までの10年間はJC青年会議所に皆勤没頭しました。「人生は人を求むる旅である。」ということに感動し、最後の2年間は東京商工会議所(日本JC)に出向してデザインは二の次、人脈ばかりの旅を10年間もしていた事になります。昭和40年から50年の10年間は身体をこわし、胃潰瘍で胃を押さえながらの仕事でしたが、万博や新幹線が開通して、静岡・浜松・熱海・東京の仕事が多くなりました。とうとう、胃を半分切断しました。ここまでが人生の青年期として自分で位置づけています。昭和50年から60年までの壮年期は、胃の回復と共に雑誌執筆やらコンペ入賞やら、あらゆる賞に挑戦、受賞の連続で充実した10年間でした。昭和60年からコンペやらあらゆる応募をご辞退し後輩に道を譲りました。営業的な仕事は辞めました。今までの多くのクライアントの断りきれないものだけのデザインをさせて頂く事にしてから約10年になりますが、これが切れなくて続いているというのも楽しい現象です。

今、サインと言うものに共鳴して、発起人には田中 一光氏、福田 茂雄氏やJCDから高村 英也氏、寒川 登氏、業界から乃村の蟻田 栄一氏や魚成 祥一郎氏などが協力を名を連ねています。戦後から現在に至るまで曲折し乍ら図面を書き続ける事に専念しました。そして、今も書き続けています。精神的な心と健康な身体、積み重ねた技術、この二つのバランスが保持されればデザイン活動は永遠に生き続けるものと思います。

40年間もフリーでおりますと、ストレスが全然ありません。会社人間になると図面を描かなくなり、会議や印鑑ばかり押す役職になってくると感性がズレてきます。易者にサラリーマンにならないようにと言われた事が現在、快適空間に生き抜いている事になりました。

私自身の性格上これが一番良かったようです。吾々勝手人間は会社では三日ももたないと思います。お施主さんとは30年以上続いている人達が多く、これが不思議の一つです。商売を離れて楽しみ乍ら図面を引いていると心が通じるようです。梵語(サンスクリット)では三昧(ざんまい)と言います。贅沢三昧とか、刃物三昧とか一心不乱にひたすら無心に図面を描いているので「図面三昧」の世界に浸りきっています。酒を飲み乍らデザインの事など考えていたりしては、酒に対して申し訳ないと思う今日この頃です。

プロフィール

- 〈出身地〉大阪府
- 〈出身校〉大阪府大工学部
- 〈現事務所〉信貴デザイン事務所
- 〈所属団体〉日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)・国際デザイン交流協会・日本サイン学会
- 〈主な受賞〉JCD賞 1973年「大和屋」・JCD賞 1978年「まつ波」
- SDA賞 銅賞「大和屋」・SDA賞 銅賞「プラウン」・SDA賞 金賞「まつ波」
- SDA賞 最優秀賞「湖畔」・SDA賞 優秀賞「湖月」その他、第7回から20回まで連続入賞
- CS賞 シルバークラウン賞「神戸オリエンタルホテル」・CS賞 ブルークラウン賞「和歌山むさ志」
- 日本板硝子賞「名古屋ポアレヌ」
- 〈主な著書〉吉相住宅の間取り集
- 〈雑誌〉商店建築誌・和風建築誌・新住宅誌作品多数記載

— 大菅さん「産業功労賞」の受賞おめでとう —

日頃万年少年のような大菅先輩が、神妙に賞状を受け取る光景などはあまり似合わない。多分に小学校時代の皆勤賞を貰う姿を想像してやまないのである。皆勤賞と言い出してフト懐かしさを覚えたのは、近年勤勉に何か一つのことを続けていくことが、あまり評価されてないのではと思ったからに他ならない。特に昨今の学校において然り、実社会においても今や「機を見るに敏なり」の例えの如く賢く立ち回り、目先を変え得る才能を良しとする傾向がないだろうか。これは裏を返せば、前向きな自己の研鑽とも言えるし、自分が見えてないとも言えよう。

その点大菅先輩ほど自分を良く見極めている人は例が無いと言いたい。ほぼ36年前小生が、この世界に足を突っ込んだのも、大菅先輩が業界の若手旗手としておればのこと、正しく先輩は50年に近い皆勤賞の快挙の賜物である。本物を見極める力を持たない「自称プロ」が多いこの世の中で唯一、善し悪しの判断が出来る貴重な先輩に教えられることが多い昨今(否以前からだが)である。偉ぶらない性格、多少吾がエエ(良いの意)?の傾向はあるが、これは創作活動をする者にとっては必須条件。あまり褒めちぎって調子に乗せてもいけないし、「ヨォマー長いこと飽きずにヤッチマンナー」と大向こうから声が掛かりそうなので止めるとしよう。本当におめでとうございませう。

(株)赤松店舗研究所 野村 武彦

— 大菅 満義 氏の受賞をお祝いして —

大菅先生がこの度、大阪府知事産業功労賞を受賞されたことを、心よりお祝い申し上げます。先生とは私がこの業界に入ってより、いやそれ以前の大学時代より、先輩後輩の中で種々ご指導をいただきました。

関西での先駆者である松田先生や山家先生、三宅先生の時代に若手として活躍なされて以来40年近くになり、今やこの業界の大長老でおられます。この業界も昨今は多種多様化しそれに対応するのにとおわらわであるが、その中で、大菅先輩は冷静に観察、判断され、最近の店舗は画一化され、何々屋らしさがない!といつも指摘されている。私もまったく同感である。私生活においては茶道、陶芸を楽しまれ、優雅そのものである。

京都の祇園に“たるげん”と言う、檜の樽造り屋がいる。世の中がプラスチックの容器になっても悠々と樽を造り、今やその業は稀少価値となり、全国より注文殺到とのこと。何か大菅先輩は商環境業界の“たるげんさん”のような感じがするとも思っている。

今後とも、健康に留意され、我々の指導者として頑張っていたいただきたい。

(有)マン・スギヤマ・デザインルーム 杉山 榮一



中央左より5人目が大菅会員

現在に生きる悠久の響き「雅楽」

京都方楽家 安倍 季昌



国立文楽劇場 楽屋にて '93.7.3.

大阪の四天王寺の近くに伶人町という地名が今も残っている。伶人とは雅楽を演奏する人の呼び名である。中国の古代、黄帝の時代に伶倫と呼ぶ楽官がいて黄帝の命で音律を作るため山に入り竹を切り取り、鳳凰の鳴き声に合わせて十二律を作ったという伝説があり、この名残が伶人として演奏家になったようだ。

伶人町には聖徳太子に重んぜられた渡来人の奏河勝を祖とする東儀、蘭、林、岡、古くは中、喜多、西京、玉手、戸部などの楽家が四天王寺の伶人として住んでいたのである。楽家とは雅楽を家業とする家で奈良にも興福寺、春日大社等を中心とした上、芝、奥、窪、久保、東があり、京都は御所を中心とした多、安倍、山井、豊原があり、合わせて三方の楽人という。いずれも一千年以上の家系を持ち、現在も多数続いているのである。

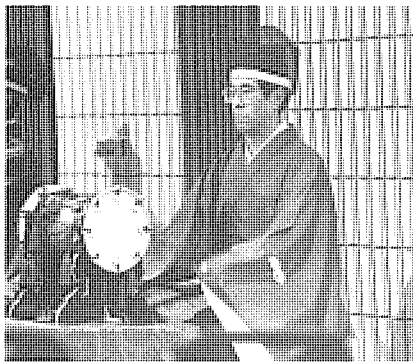
雅楽の歴史は古くは中国の周の時代に十二律を完成している。今から三千年前の時代である。隋の文帝の頃からイラン、インド、中央アジア、朝鮮半島の音楽を整理したもので唐の時代に完成したといえる。日本へは四世紀半ばより朝鮮半島との外交により伝わり始めた。聖徳太子は仏教の興隆のために「三宝を供養するには諸々の蕃楽を用いよ」と大陸音楽の輸入を奨励した。七世紀後半には遣隋使、遣唐使により中国文化の流入が盛んになり雅楽も大いに発展していった。太宝年間には雅楽寮が設置され宮廷国事の祭事、東大寺、西大寺をはじめとする諸大寺の法会に演奏された。有名なのは東大寺の大仏開眼供養会であり、全ての楽舞が集まり一大舞楽法会が行われた。遣唐使の廃止とともに唐風文化から日本風文化へと移っていき、貴族らは自ら雅楽を「遊び」といい楽しんだ。この時代に宮中に楽所が設置され私ども楽家の地位は確立し代々父子相伝で家を守り、技を守るようになった。平安末からは武士の圧力で貴族も力を失い、特に室町末期の応仁の乱は大きな打撃となった。楽人もちりぢりになり地方へ広がっていった。ようやく秀吉により統一され皇室も保護されると正親天皇、後陽成天皇は宮中行事復興のため三方の楽人を京都に集め三方楽所を設置した。江戸時代に入っても徳川家が三方楽所を保護し、江戸城内にも楽人を集め雅楽の伝承に力を尽くした。宮中、神社、仏閣の儀式として再び盛んになってきた。現在の雅楽の基本の形式はこの時代に確立したと思う。明治以後は東京に移り、宮内庁楽部として技の鍛練と伝承に従事している。

雅楽は直接に人間の感情を表現していない。雅楽を聞いて人間的な感動を覚える人は多いが、感情に対応させて喜びや悲しみを起こさすものではない。喜怒哀楽の情緒から一段上の純音楽的高揚を感じさせるのである。永遠や無限を暗示する形而上的な笙の持続音、これは人間の呼吸と結びついている。箏は人間の持つ普遍的なエネルギーをメリスマに変える。楔のように打ち込まれる琵琶、箏の響き、これは相対的な時間を形成する。龍笛は天と地を繋ぐような音を出す。全てが異質性で非現実的な魅惑に満ちた音響世界である。このように雅楽は音や舞いに宇宙の森羅万象様々な意味を担わせ、組み合わせにより宇宙の秩序を再現しているのである。自然界と人間界の諸現象を中国古来の陰陽五行説とインド伝来の大乘仏教思想を体系的に取り入れ、宇宙音楽として成立させたのである。宇宙の秩序に逆らわず、自然に順応した生き方は東洋の思想でもある。これは自然を征服することによって文化を築いてきたヨーロッパ思想と相対している。

さて、現在では儀式的な場から音楽芸術として外へ開かれて各愛好団体もホールでの演奏が多く行われるようになってきた。音響的な良さと視覚的な良さを持つホールは少ないのではと感じている。本当の意味での自由に変化する多目的ホールの出現を待つことになる。

大相撲も曙、若貴人気で盛り上がっているが、千秋楽という語が雅楽から出ているのを知らない方が多い。昔から寺院の法会の終わりに千秋楽という名の曲を演奏したので、この名残が相撲や芝居の最終日を千秋楽というようになった。二の句がつけない、というのも雅楽の中の歌謡で朗詠という漢詩を一の句、二の句、三の句と別けて唱う曲があり、二の句の音が大きく、声が出ないので、次の言葉が出ないという意味で、二の句がつけないと使われるようになったという。二の舞いを踏む、太平楽を言う、音頭を取る等、雅楽用語が生活に入っているので辞書などで楽しんで欲しい。

一千年以上日本で生き抜いてきた雅楽、これは秘められた力と楽家の努力があったればこそ、現在まで生き抜けたのではないか。平安時代も現在も新鮮な響きは絶えないであろう。



演奏会にて 羯鼓(カッコ)を打つ



舞「陪臈(パイロ)」



舞「振舞(エンブ)」

- 宮内庁楽部楽師として継承してこられた安倍さんは、本年はご成婚にともなう儀式やその他の国事等、公儀において大変多忙な年でした。演奏家として雅楽の埋もれた曲も披露してゆきたいと情熱を持たれ、各地の演奏会でご活躍、雅楽の伝承に努められています。

MILANO

野井成正デザイン事務所 野井成正

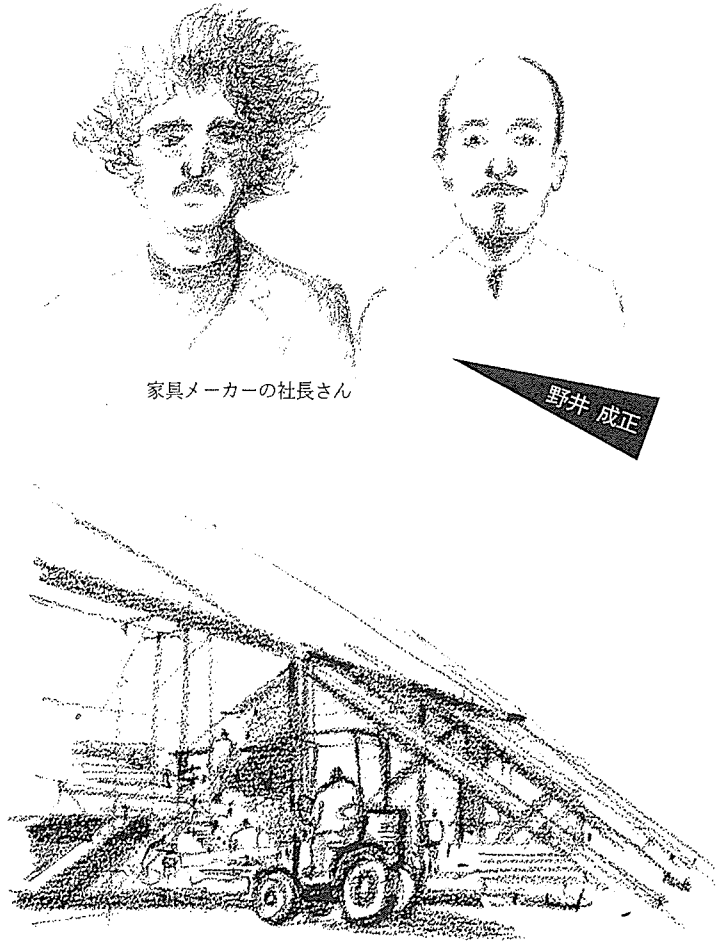
今年4月ミラノへ行ってきました。

ミラノサローネ(家具見本市)視察旅行という名目なのですが、ミラノの街が好きでとにかく毎回靴がちびる程歩き回っています。モダンな反面、市電や運河や石畳の町並みが昔ながらに残っていて、生活に溶け込んでいる。活気のある都市空間が心を和ませてくれて楽しく、なぜか何時も大阪の街を思い浮かべてしまいます。

子供の頃遊び回った橋や路地の多い大阪の風景に良く似ているし、昔から好きでよく観ているイタリア映画——特にビットリオデシーカやエットレスコラ——の下町が騒がしいけれど温かい雰囲気愛着を感じるのだと思います。サローネの方は数年前のデザインを全面に出した家具が少なく、保守化の傾向です。素材やディテールに工夫を凝らしたベーシックなものが多く、少し寂しい感じがします。

今回のミラノ行きは、サローネ視察と共に、ある家具メーカーに自分のオリジナルデザインの椅子をプレゼンテーションするという目的もありました。ベネチアから約1時間程のトレビゾという街に家具メーカーの工場があり、そこを訪ねました。そのあたりはイタリアでも有数のワインの産地だそうで道中は見渡すかぎりのなだらかなブドウ畑、イタリアののどかさの原点のような美しい田舎の風景です。小さな田舎町といった感じのトレビゾの街、町工場を大きくしたような素朴な工場。いかにもイタリア男といったもじゃもじゃ頭の社長さん。通訳を交えて、身振り手振りでしたが一人でやってきた日本人デザイナーに対し、真剣に対応してもらい、いい体験ができました。

ミラノといい、ベネチアといい、トレビゾといい、それぞれ個性のあるイタリアの街は、何度行っても生活文化の層の厚さを感じさせ、羨ましく思います。また、行きたいと思っています。
'93. 夏



家具メーカーの工場

NEW WAVE. A SENSE OF LIFE
KOIZUMI

日本で初めて、HQLランプを屋外照明のスポットライトに採用した「ビッグ」。ハイパワー・高演色の光と、シャープなライトエッジ。さらにグラフィックライト機能(文字カッター別注)も付いて優れた演出力。あざやかな光のアプローチを実現します。



小泉産業株式会社 事業本部
〒541 大阪府中央区備後町3丁目2-8 長谷ビル
TEL.06-266-7804 FAX.06-266-7845
KOIZUMI ぐらしのショールーム/イズム・エル 大阪
〒562 大阪府箕面市萱野4丁目2-10
(みのお住宅総合展示場ヨコ)
TEL.0727-24-1265 FAX.0727-24-1361



91グッド・デザイン選定商品

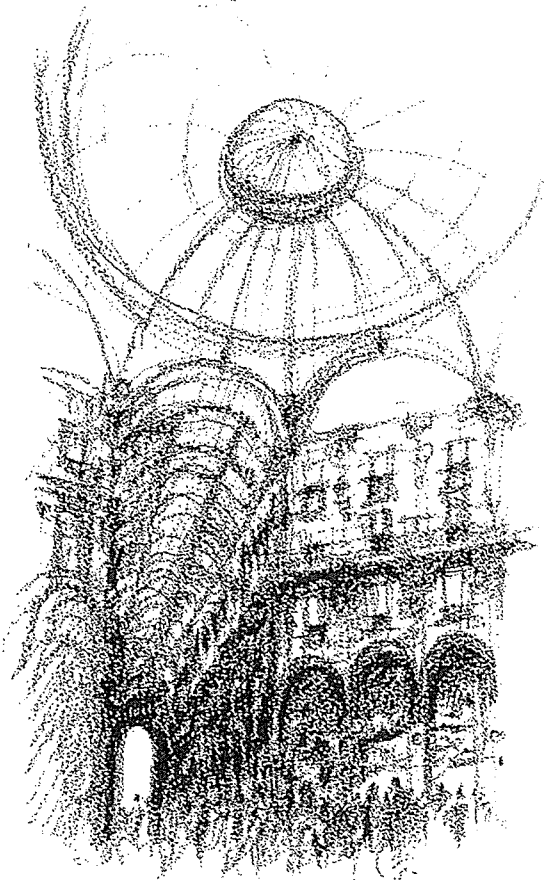
AU-50035
¥92,000(消費税別)
※ビッグは屋外用のほか屋内用もあります

FOR NEW VMD LIGHTING
BIGGUNO

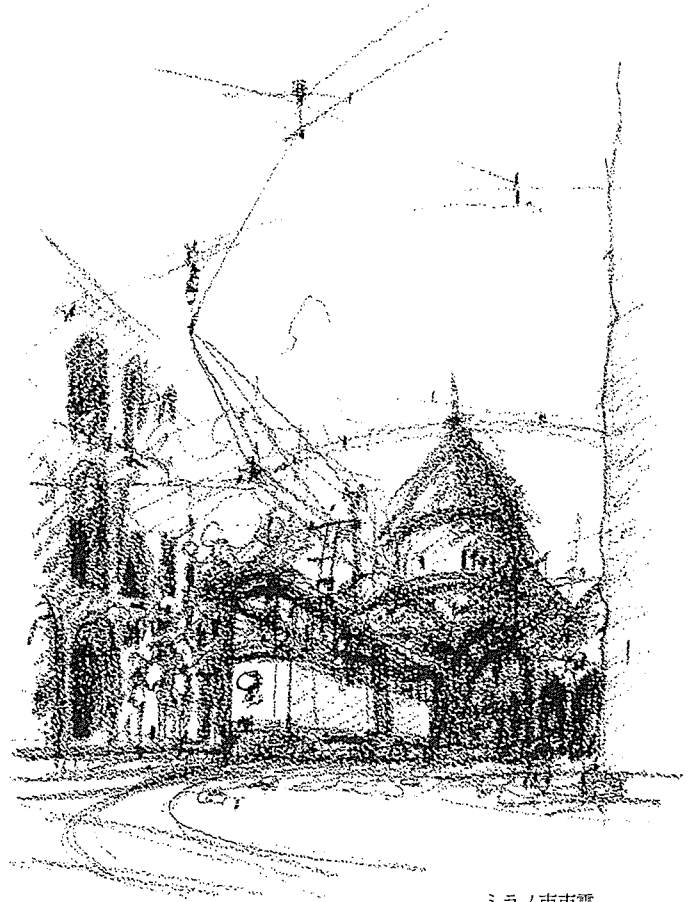
屋外初の、HQLスポット。

5th

おかげさまで半世紀

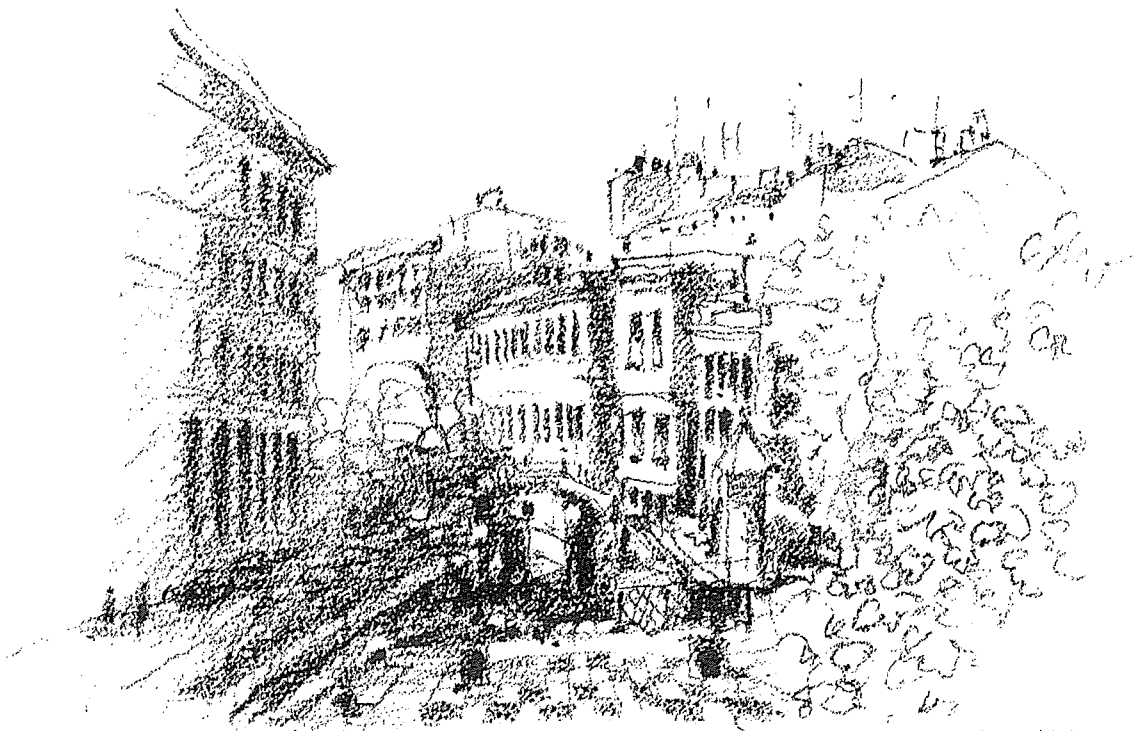


ビットリオ・エマヌエーレ二世 アーケード



ミラノ市市電

MILANO



ミラノ市運河



'93 JCD関西支部 水上ビアパーティ

(船場 南原 利廣)



アイスクリームと
ニラメッコ。
かわいい支部長!!



いつもの名調子でございさつ 大菅さん

今年のビアパーティは、原川組織副委員長の骨折りでアクアライナー（大阪水上バス）を貸切り、平成5年7月22日開催、会員・賛助会員（14社+支部会員3社）含め87名と多数参加し、定刻5時30分 大坂城港を出発しました。



いざ乗船…

原川・菅野会員の司会で開会、要支部長挨拶、太田副理事長より大阪府知事産業功労賞を受賞された大菅評議員の紹介、事務局の徳留さんより花束が贈呈され、関西支部としてお祝いしました。“おめでとうございます!!”



岡さんっちのお嬢さん!

賛助会員のヤマギワ照明システム小島氏の乾杯の音頭でいよいよパーティが始まりました。恒例のゲーム、今年は……

一. 近似値クイズ

大阪政壇、知 等

一. マジカル頭脳ゲーム

一. タイガース ラッキーセブン!?

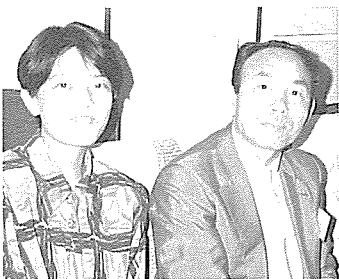
など、頭と一部肺活量? をフルに使ったゲームで年齢と時間を忘れ、ワイワイガヤガヤ大変盛り上がり、あっという間に2時間が過ぎました。7時30分無事帰港しましたが、出発の時晴れていたのがいつの間にかドシャ降りの雨になっていました。皆さん風邪はひかれませんでしたか? 組織委員の皆さん、ご苦労さまでした。今年もまだまだ行事があります。特に年末のクリスマスパーティは頑張りますので、会員の皆さん期待您的いてください。



何を口説くか野村理事



原川会員、ご苦労さん



陸山理事の横に
いつも女性ありき!



南原会員の
左手にご注目!!



いい笑顔ですネ…



JCDにも美女の参加が多くなりました ケッコウ!ケッコウ!



この笑顔 事務局の前員にも見せておいてね!

(組織委員会 委員長)

「超ルーカス体験」レポート

(株)商業計画研究所 神戸 一生

通常なかなか見聞することの出来ない異空間との出会いをコンセプトに始めた「談話室」ですが、去年の毎日放送スタジオから今年は大阪城ホールに舞台を移しました。高額な席料を負担しての異空間体験でしたが、さすが本場アメリカのショー技術は凄い。

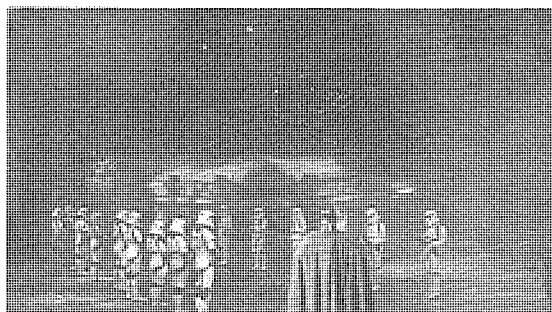
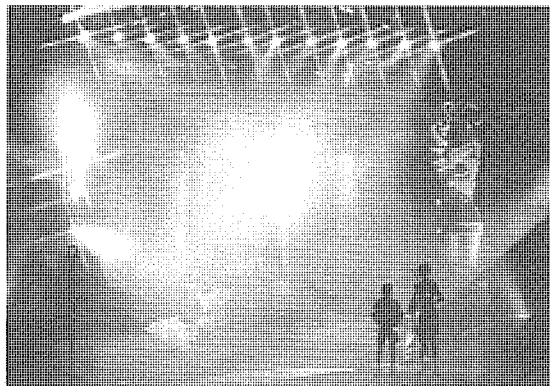
構成はジョージ・ルーカスが総指揮または監督した5本の映画シーンをバックに、ステージではそのライブショーが演じられるという内容で、大菅評議員の解説によると、日本の「連鎖劇」の手法と全く同じで、馬に乗った鞍馬天狗が草原を駆け巡るシーンは映像で見、悪党どもをバツバツと斬り倒す立回り演技は舞台を見て楽しんだそうです。

今回のジョージ・ルーカス・スーパーライブ・アドベンチャーの圧巻は、インディ・ジョーンズのクライマックスで、洞窟が崩れ落ちるシーンをステージで再現したことと、何と言ってもあのスターウォーズの帝国軍と反乱同盟軍の宇宙戦闘シーンであったと思う。大阪城ホールが大宇宙に早変わりりし、戦闘機が猛スピードで頭上を飛行するのが走る音響で実感出来たり、レーザー光線、火煙効果等で、観客が戦場に迷い込んだような臨場感が体験出来た。アメリカン・グラフィティでは巨大なジュークボックスの前で、健康的なヤンキーがロックのリズムに合わせて踊り狂い、ちょっぴり青春を体験した。

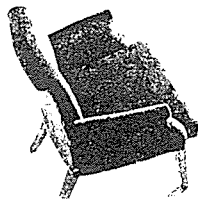
取えて文句を言うならば、タッカーでのタップダンスが長すぎ、退屈したことです。夢の車と言われたタッカーを世に送ったサクセスストーリーをアメリカ感覚で演出して欲しかった。それにしても、このショーをプロデュースしたケネス・フェルドは弱冠45歳のアメリカを代表するエンターテイメントプロデューサーで、陽気なアメリカ人に興奮と歓喜を提供している人です。ライブショーにコンピューターを導入しているのも彼等の特徴です。

JCDの会員の職域をもっと広げて、人々に楽しさを提供出来る環境を総合的にプロデュースしたいものです。

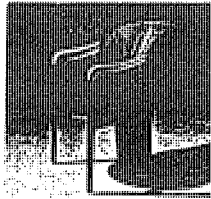
(研究開発委員会 委員長)



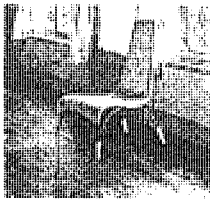
Abard




Selva




Ferreo



Abard STACK





株式会社キノシタ
KINOSHITA

本社ショールーム 千556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 ☎06-644-5541代
 東京支社 千123 東京都足立区鹿浜5丁目5-18 ☎03-3855-4711代
 名古屋営業所 千458 名古屋市緑区曾根2丁目264番地 ☎052-624-6660代
 東大阪商品管理センター/出雲工場
 ●カタログ御希望の方は、もよりの事業所へお電話下さい。

「JCD活動の活性化」魅力あるJCD活動とは

※全国各支部から我々関西支部の大きなテーマである会の活性化についてのメッセージを送って頂きました。

関西支部会員としても各支部の意見を参考にし、今一度考えてよりよい会の運営をしようではないでしょうか。

理事長 武石 馨

“自然文化論のすすめ”

ニワシ鳥の社会では、自然である繁殖行動と“庭作り文化”が普遍的に融合しているという。そのニワシ鳥類の美しい建造物を、“自然の中の文化”とみることが出来る。

(加藤幸子・作家)

一方“反自然”の極の様な都市開発・商環境デザイン活動の中にも鳥達の仕草や、求愛の“造形行為”に共通するものがあるのではないだろうか……。

人間の“創作行為”が直面する“自然”と“文化”の領域に対しての考察を“近未来”の望ましい都市環境・商環境デザインを論議する大切な時である。

専務理事 奥脇 文彦

関西の皆さんの活性化の軸に、この支部機関誌、またNEWSがあることはよく承知しています。過般、要支部長から関東の情報誌にメッセージが寄せられ、「知的集団としての論議を」という意見を拝読しました。これは、会内部の交流・活動の場と同時に、外へ向かっての会活動活性化の姿勢であろうと思います。

我々のジャンルには、各地の実務レベルではいろいろなラップがあります。設計家集団の姿を念頭に置いた活性化が望まれます。

関東支部長 黒川 恭一

時代の変革・多様化と同時に、我々の職能領域も変革し多様化している。多様化とは個人主義の深化であり、価値が多様になることであろう。会員であることの意味、価値を再認識することであり、パッシブではなく、アクティブに関わる事である。“Person's interested in the same subject”会員として共有出来る魅力のテーマとは何か、価値がありある種の満足感を得るテーマについて、アクティブに知識、知恵を出し合う事が肝要だ。

北陸支部長 小野木 裕

先ず「商環境学」である。人間の生存空間にはその環境と生産環境その中間は商環境で、ビジネス環境、流通、交通環境と移行拡大する。我々集団は今迄の仕事を進めると同時に、商行為哲学とその分類の究明、商業色彩の世界、市場人間活動学と哲学的人間工学、等々の分野研究確立に向けて各方面の学者の協力などと共に研究の世界に果敢に突入しなければと思う。その辺りを吾が集団の最大のテーマとして本部・支部共に連絡委員会を創り、第一回、第二回と総合的な発表を重ねながら究極の目標に近づく。

この様な事は魅力ある活動とは言えまいか。

中部支部長 成田 巖

諸先輩も考え、今私達も悩みながら考える、又後輩たちも考えるだろう。時代が変わっても難しい問題です。

この団体の魅力を理解している人とそうでない人の差が大き過ぎると思われる。その魅力とは何かを理解させる活動が必要だと思う。先ず私共としてその1、会員が参加したくなる催し、それは団体のトップが定期的に支部を巡回する事。その2、金のかからない方法を考える。その3、勉強と遊びを半々にする……etc

皆さん頑張りましょう。

副理事長 太田 眞昭

我々、会員個々の横断的テーマを常に考え、協会内部と外部への二極的活動の活性をバランスよく行う。空間デザイン系関連を中心に他協会との固有性と融合性を基礎に、もう一度我々の職能の何であるかを見据えて、協会参加の意義と意識を自身で高め、又その受け皿として組織的にそれらの精神を醸成する場と時をきめ細かく運営すべきである。現代の社会背景で地域性(支部)と国際性のキーワードをその活動の中に少しでも取り込む事が必要である。

四国支部長 日下 康考

戦後すぐ獅子文六さんの“てんや、わんや”という小説があった、映画化もされた。愛媛の南予地方、牛鬼が出て、宇和島が城辺が舞台であった。戦争が終わり、日本国土が分裂されるなら、四国州を独立さそうと面白おかしく、ユーモラスに表現されたものだったと記憶している。

そんな四国は、昔より神秘的な国、未知の国、人情細やかなところと、物の本に紹介された。偉人が多く出ている四国には独特の個性がある。我々の業界にも偉大な先輩が出て、大いに四国をアピールしてくれた。今四国は瀬戸大橋が架り、明石～来島海峡に今世紀中に大橋が架る。我々の業界にも厳しい経済、流通の嵐が吹き込んで来ている。又、ストロー現象もある。四国のキャッチフレーズは“蒼い国 四国、四国へ来い”。四国会員も少ないながらもいろいろ活発なる意見も出て来て楽しい。活性化の為のグリーンの芝も美しい、フィーも安い、これからの四国は本当に面白い。

※ゴルフ場をエントリーするときはいつでも連絡ください。

中国支部長 沖本 弘至

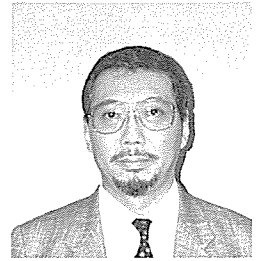
- ㊦ー ーる気はあんさんの心一つでっせ！そやる
- ㊦ー ーまんことに悩んだりせんとかいなはれ！
- ㊦ー ーんとう様の真下で、パットやりなはれ！
- ㊦ー ーじめな論議は本気で取り組み実力を養え！
- ㊦ー ーらいこともそらあるやろ、なーお互いに！
- ㊦ー ーと！せずに、陰口、悪口言うな男やろ！
- ㊦ー ーリーグに負けるな！野球はカープでっせ！
- ㊦ー ー I E A R, C R E E D, C R E A T Eなら
- ㊦ー ー E S I G Nも楽しく面白くやって来々！
- ㊦ー ーれの言うこと聞きなはれ！広島の声

九州支部長 林 峯生

- ①会員が必ず出席したくなるような最高の関心事の情報提供や情報交換の例会を実施する。
- ②会員の業務活動にすぐ役立つ新分野の開発や新規顧客の開拓手法等の研究会を実施する。
- ③特別委員会を設け、地域活性化に役立つ画期的な商環境構想の提案等を積極的に実施する。
- ④会員の最新作の商環境や会員以外の話題作の商環境等を見て回る会を定期的の実施する。
- ⑤地域の商環境関連企業との小交流会や異分野デザイナーとの小交流会を頻繁に実施する。

▼理事長をはじめ全国各支部長の皆さん
ご協力ありがとうございました。

上方より



関西支部長 要 信行

「あんな、何やってまっか…」

◇「やろう…」 「やろう…」 ばっかし言うてて、「やる“気”おまんのかいな。」

「やった」 「やった」 の実感をつかんでこそ、この“気”というやつが解るのと違いますか。人生も仕事も経営も組織運営も「やる気」「こん気」「とる気」でっせえ!!

これは先日行われた関西落語家‘桂 文枝’師匠の講演会での一節である。

時代は、世界も社会も個人も大きな転換期の時を迎えた。個人にも組織にもこれまでの概念を超えた新たな模索と共にその生き残りをかけた変革への行動が要求される今、我々関西支部としては、常に支部会員が問題意識を持ち、目を外に向け、異質を認めた新しい一致の発見を見出し、創造でき得る組織活動を目指して行こうと思っております。

対立と論争がなければ何も生まれない。

組織でも社会でも今一番危険なものは議而不決、決而不行、行而不省（審議しても決定できず、決定しても実践できず、実行しても反省検討しない）このようになることだ。卒に囚われすぎて、見えないところを見ようとせず、マンネリに凝固し、裏を返せば「生真面目さ」のみが先行するあまり偏差で硬直化してしまう。経済活動でいう統制経済を自ら行うようなものだ。自由（勝手ではない秩序立てられた自由）をなくし、ファナティシズム（狂信への道）へと連なって、権威主義・利己主義へと入って行く。もう少し個人も組織も加減を知った「ほどほど主義」（中庸）を大切にしていきたい。

ディベートという知的な対話のゲームがある。ディベートのコツは最初に賛成か反対かを明らかにし、次にその理由を実証的に列挙し主張の正しさを論証するところにある。ところが我が国民族は、長い農耕文化に由来するムラ社会だから「出るクイは打たれる」の諺どおり、大多数の意見に挑戦する異論は許されない雰囲気がある。「イエス」「ノー」をハッキリさせない日本語の特色も正常な論議の発達を妨げている。

せめて、知的レベルの高いクリエイターの集いであるJCDでは本音と建前の使い分けをせず、積極的に凝縮された論議ができるよう心掛けるべきであろう。ユーモアを理解し、ユーモアを自ら発し、柔軟な精神をもって何事にも積極的に「求め」、いつも問題意識を持って楽しみながら行動できる支部組織を目指したい。さらに全員主権を柱に、社会と会員への貢献をコンセプトに活動を進めて行きたい。「何のためにやらねばならないのか……」「世界で、

社会で起こっている現象を目で見、肌で感じ」、そうする事によって会員個々が情報化及び成熟社会において新しい概念が生まれ、それらを個人レベルへ直結できる組織活動でありたいと思う。

全体主義的発想での「公平」という概念では平均的活動のみが優先され、大きくなりた個人にとっても、前に進みたい組織にとってもエネルギーは繋がらない。「何が会員に最も求められているのか……」「その地域(エリア)にどのような概念が生まれ、育てようとしているのか……」組織とはそのような自然の成り行きを助長するものでなければならぬと思う。今や、「組織が何を考えているのか解らない」そんな恐怖さえ感じられる。

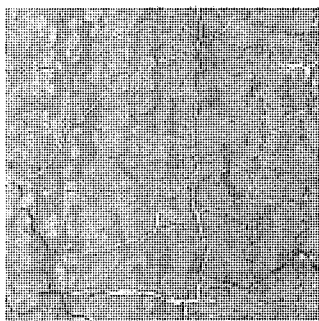
「何のための組織なのか……」物事すべて結論がさきにある事ほど、こんな無意味で悲しい事はない。なぜならそこには議論が存在しないからだ。このような状況では、本当の組織の活性化はできよう筈がない。一刻も早く組織の運営方法を組み直す必要があると思う。そして、そこでの基本理念は「地域(エリア)をもっと重視し、地域自体が社会やデザイン界や組織等と直接交信できるようになる」事だと考える（地域を地方と同一視せず）。

また、組織が活性化できないでいるのは会員の参加意識が希薄な事もある。皆が知恵を出し合って一つの問題点を解決していく中でこそ、活性化は実現するものだと思う。私達会員の価値観が形成される最も重要な意識が「参加意識」を持たせる事だと思います。関西支部では、そのためのスタートとして同好会の拡大と活動の頻度を上げることを実践し、また新しい思いとしては、地域(エリア)でのコミュニティづくりを育てたいと考えています。

人間は不完全を知り向上するものであり、知的好奇心もここから生まれ出るものだと思います。何かを行う時、冷やかな目で見ている無関心な傍観者の自分に気付いたなら、そこから新たな勇気が芽生えるものです。現実を見つめる勇気がなければ何も生まれない。ただ、ただ外野の評論家になるだけだ。また若さとは、楽しさを求めるところにあるものです。四月、花と緑で満たされる季節。人生、社会、いつものように考え行動できれば、年齢にかかわらずどこか春を感じさせ得る。人生も社会もいつまでも青春がいい。

春眠お目覚めの方は、大きな大自然へと飛び出してください。きっと自分の限界を超えられると思います。昨日の事であまり賢明にならず。ほな、さようなら……。

【欄コム・インターナショナル 代表】



ユーロマーブル 6815 ¥5,950/m²

超えた床材。

水準を超えた、ハイクオリティー。

常識を超えた、ロープライス。

LSIのPVC(塩ビ)フィルムタイル。

エルエスアイ株式会社

本社 〒107 東京都港区南青山1-26-4 TEL.03-3404-1411

大阪支店 〒532 大阪市淀川区宮原2-14-14 TEL. 06-397-9092





芦屋大学 小宮 容

古画 (巻物、屏風等) に観る商環境 ■ その3

『洛中洛外図屏風』に観る商環境の第3回である。町田家旧蔵本、上杉家本に引き続き、今回は、舟木家旧蔵本である。この舟木家旧蔵本は、元和2～3年頃の制作とされる。元和元年(1615年)は大坂夏の陣で豊臣氏が滅び、名実共に徳川氏の天下となった年である。ここに描かれる京の町は、豊臣政治、安土桃山時代の華美で遊樂的な時代から徳川の安定した治安の時代に入っていこうとする時期の様子である。また、特に人々の描写は、町田家旧蔵本、上杉家本に比べると、明らかに享樂的で、表情豊かで、動的で躍動感に富んでいる。

この屏風は、公式名を「洛中風俗図屏風」と言い、風俗描写を主としている。その風俗の構成を観ると、まず右隻では、寺社の参拝－豊国社、大仏殿(方広寺)、清水寺、祇園社他一の様子。参拝に関わって五条通の飲食街の様子。次に、五条大橋から北の三条大橋までの四条河原での観劇－能、人形浄瑠璃、歌舞伎他一の風俗、これに関わって、六条通の遊女屋の風俗が左隻へ続いて描かれる。左隻では、右側上段に寺町に行く祇園会(現在の祇園祭)、これは町衆と祭の風俗である。対抗して、左側上段に御所と公家の風俗、その中段から下部へ徳川家康の京屋敷である二条城と武士の風俗を描いている。これらに囲まれて、洛中の市町の人々、商人、武士、僧侶等々の風俗、様子が克明に描かれている。

これらの構成から、時代の特徴を読み取るならば、1つは、豊臣氏、徳川氏のキリスト教弾圧以降の仏教、神教の加護による神社仏閣の復興である。特に右隻の一扇、二扇に一際大きく描かれる大仏殿(方広寺)は、豊臣秀吉自らの計画、建

立である。これを取り囲む豊国社、智積院、三十三間堂、建仁寺、昭高院、知恩院等は、秀吉の縁あるいは加護を受けた神社仏閣である。2つは、公家社会の台頭である。朝廷から関白の官位を戴き、自らを権威づけていった豊臣氏、引き続き、徳川秀忠の娘和子を天皇妃とした徳川氏により、鎌倉、室町、戦国時代と武士の勢力に時代の隅に追いやられていた公家の復興である。3つは、公家を大切に扱ったといっても、安土・桃山・江戸時代は武家の世である。市中の武士達の様子は傍若無人である。4つは、上杉家本の折にも触れた京の町衆の勢力である。商業者を中心として各町々に町組を組織し、商いを、生活を、祭を仕切ったのである。5つ目の主役は、市町の人々である。江戸幕府開設(1603年)以降江戸の町は急速に発展し、日本一の大都市となるのであるが、関西では、京都であり、次に大坂である。この時期、歴史ある京の町がこの屏風を生み出す事を観ても、日本の文化の中心である事は揺るぎなく、それを支えるのが都市人たる市町の人々なのである。これらを5つの階層(武家、公家、商人、平民、僧侶)と見て、この舟木家旧蔵本を見るならば、商人、平民を中心に据え、それを囲む武家、公家、僧侶という京の町の担い手達の構成が観えてくる。

さて、商環境を子細に観察すると、五条通が浮かび上がってくる。右隻一扇の大仏殿より、西へほぼ一直線に五条橋を渡って、左隻へと続き、洛中を寺町通、室町通、新町通、堀川通と交差して六扇の二条城に至る(二条城では少しずれがある)まで屏風を横断する構成となっている。絵師のねらい

都市を彩るあかりのクリエイター

洗練された光と空間を創造するあかりのクリエイターDAIKO。様々な照明器具や照明システムを提案し、デザイン、施工からアフターサービスまで、お客様のニーズに応じた照明ソリューションを提供いたします。

DAIKO
大井電機株式会社

● 本社：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
● 支店：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

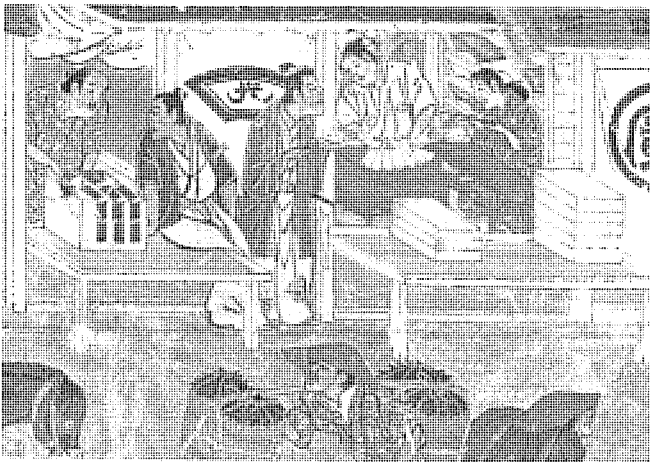


図1 左隻(第六扇) 五条橋通、両替屋、扇屋

『大仏殿と二条城それを結ぶ五条通を構成軸として、これに絡めて神社仏閣、通、御所等を配置し、人々の風俗を描き込んで行く』があるように思われる。そこで、町田家旧蔵本、上杉家本の商環境を室町通に見たが、舟木家旧蔵本では、この五条通を中心に店舗業種を観ていく事にする。左隻二扇より、店(業種不明、連子格子、床几)、店(業種不明、荒格子、床几、暖簾)【三扇】食べ物屋(すり鉢、すり粉末)、食べ物屋(かまど、鍋、包丁)、食べ物屋(折敷、椀、床几、かまど、釜、杓文字)、食べ物屋(客引き女、折敷、徳利、かまど、釜)、食べ物屋(折敷、椀)【四扇】食べ物屋(床几、椀、かまど、釜、杓文字、焼き魚)、両替屋(床几、びん銭、銭)【五扇】五条橋上、御幣餅の立ち売り3名(箱台)、橋詰に床屋(看板、床几、髮剃)【六扇】両替屋(びん銭、床几、暖簾)、扇屋(床几、箱、扇面料紙、暖簾)、両替屋(床几、びん銭)、挽き臼屋(床几、挽き臼、茶臼か)、右隻【一扇】軸物屋(床几、軸物)、錫屋(暖簾、床几、徳利、杯、轆轤、錫師)、本屋(暖簾、書物)、両替屋(暖簾、連子格子、びん銭)【二扇】小袖屋(室町通入り、暖簾、床几、反物)、立ち売り(箱台)、店、業種不明、連子格子、暖簾)、漆器屋(床几、杯、箱、軒暖簾、暖簾)、柄巻き屋(刀子、台、看板、暖簾)、研屋(研石、水桶、刀)【四扇】店(業種不明、暖簾、連子格子)、漆器屋(暖簾、重箱)、唐物屋(瀬戸物、壺、蒔絵重箱、暖簾)、薬種屋(看板、薬袋)、店(業種不明、床几、箱、暖簾)、店(業種不明、縦格子、暖簾)【五扇】両替屋(二条通か、机、銭、床几、暖簾)、店(業種不明、連子格子、暖簾)、道具屋(堀川通入り、床几、木槌、鋸、錐、鉋、障子)以上通り北側に観える店舗である。右隻は神社仏閣の参拝客を相手とする飲食業の風俗が詳しい。まず、初原として、店舗を構えない

立ち売りの『一服一銭』と云われる商いで、一扇の豊国社門前で、風炉に茶釜を据えて茶を売る2人が描かれている。大仏殿境内には店構えした茶屋が描かれ、茶の他食べ物も出している様子である。こうした茶屋が発展して、食べ物屋(飯、汁、焼き魚他)となり、更に、酒類を提供し、女性の給仕がついて、料理茶屋、出合茶屋となっていた。この屏風にはそれぞれの様子が描かれて、貴重な風俗資料である。また、遊女屋については、右隻五扇、六扇から左隻一扇にかけて、六条三筋町にその賑わいの様子が描かれている。遊女は、昼は、四条河原で歌舞伎を演じ、(遊女歌舞伎)そして、遊女でもある二役の者がこの時代多数であった。

こうして、業種を観ていくと、京の都の商環境的構造が観えてくる。即ち、①物販業(京の名産品の)②飲食業③遊楽業(歌舞伎、遊女屋等)④生活支援業(建具屋、材木屋、米屋等)の4分類である。これらが都市内地域をそれぞれに集中して特色ある通り、地域を構成しているのである。このような構成方法は今日の都市にも、受け継がれているわけで、この屏風から380年、文明が発達し、時代が変わったとは云えど、人々が求めるものと、それに答える商環境の構造は、根源的な所では、変わっていないと云えるようである。従って、我々が都市の商環境を考える時、人々の求めるもの、精神的、肉体的、物質的要求を見定め、商環境を設計し、演出し、構成していくという原理的方法論をこの舟木家旧蔵本から読み取ることができるのである。

次回、町田家旧蔵本、上杉家本、舟木家旧蔵本に他の資料を加え、近世の商環境を総括したい。請う、ご期待!



図2 左隻(第六扇) 歌舞伎、太夫、三味線

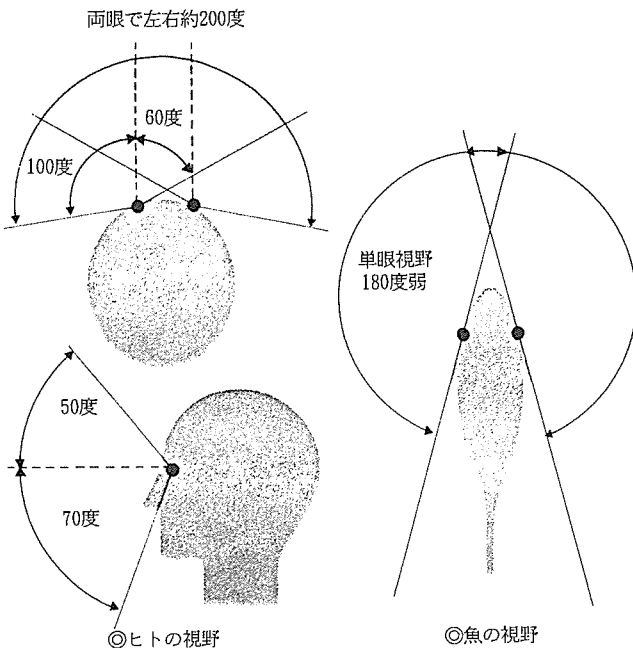


図3 左隻(第六扇) 五条橋通、食べ物屋、客引き

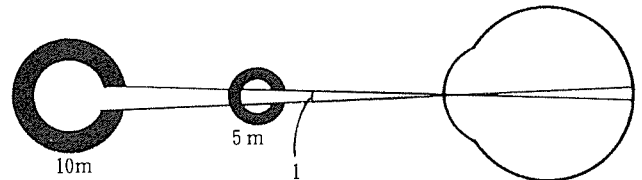
人間の行動様式と商環境 - 2

「見る」ということ……

- 前回「歩くという行為の多くが、本能や学習による潜在意識の影響を色濃くうけている例を挙げた。
- これらの行動の引き金になっているのが視覚、聴覚、臭覚、触覚、温度感覚など、いわゆる五感からの情報によることは衆知のとおりである。
- 特に視覚は、人類進化の歴史の中で驚くべき発展を遂げた感覚であると言える。
明暗、形態、色彩、遠近感などを瞬時に立体空間として把握できる能力は他の生物には類がない。
- これに対して臭覚や触覚、温度感覚といった古典的感覚（人類が生き延びるうえで重要な役割を果たした）は安全性が確保されるにつれ、むしろ退化する方向にあると考えられている。
- この視覚の発達は大脳を促し、また大脳の発達には視覚をより高度な情報入力器として駆使する。この情報を瞬時に判断する時、不必要なものはすべて捨て去る。この結果、「視えているもの」と「視たもの」との間には大きな差異を生むことになる。
- ルネ・ユイグの美術論「見えるものとの対話」の中で「見えるもの」と「視えたもの」の個人差が芸術を育てたと述べ、「見る」ことの本質を深く追求している。
- また、写真家 名取 洋之介は、写真は「事実」であるが「真実」ではないという名言を残している。
- 医学的にも視えるもの（網膜に写し出されるもの）は実際のものとはある種の共通性を持って異なっている例を挙げている（錯視や色の前進や後退など）。



(株)乃村工藝社
宮崎 鐘輔



10m、5m離れて切れ目が認識できれば視力1.0です。

- 人間の眼は(正しくは大脳は)どうやらそれ程確実なものではなく、非常に曖昧なものであることを理解したい。目に視えるもの、つまり明暗、形態、色彩、遠近感などどれも絶対的認知は不可能なのである。
- ゲーテは「もっと光を」と言って死んでいった。一体どれ程の明かりが欲しかったのだろうか……。
販売空間で商品を目立たせるためには平均照度の2倍以上の光を照らさなければ注意を引かない。2~3割の照度の変化は人間の視覚では感知できないのである。
- 形態の認知も非常に主観的で個人差がある。1円玉が直径何mmあるか正確に答えられる人は少ない。これに対し10円玉、100円玉がずっと大きいものとしてみている(実際は2~3mm程度の差しか無い)。コインの大きさは貧富の差が大きく影響している。金持ち程小さいと思い、貧乏人程大きいと思っているというイギリスの学者の論文を読んだことがある。
- 自分の車は他の人のものよりも大きいと思い込んでいたり、両親はいつまでも自分より大きいと思う、また顔は手よりも大きく表現される。
- 子供(時には大人も)が自分の生活空間を表現する時、自分にとって重要な部分や行動の中心になっている処を極端に大きく表現する。
- 色彩の理解もイメージ観念の固定が著しい。空はブルー、肌はピンク、太陽は赤、照明の光は黄色など殆ど現実とはほど遠い。
- 色彩と形態の組み合わせなどになると色と形を分解しては見ないで組み合わせによって出来る模様(パターン)として理解する。
以上の如く「見る」ということは個別の要素を分解して理解するのではなく、主観的に自己の興味の強さや知識や状況によって必要な部分を中心に認知するのである。
- 前回も述べたように視覚的に「居心地の良い空間」とは人によって千差万別なのだろうか。
人が共通して持つ空間に対する意識についての研究は確かに遅れているような気がするが……。

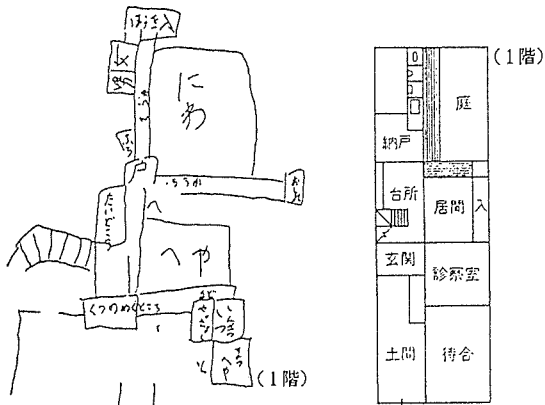
- フランス人のジョンバール・ド・ローブ夫妻の「フランス人労働者の家庭の研究」の中で、家庭での人口密度が、1人当たり8㎡以下になると社会的病理が2倍になり、また14㎡を超えると、同様に社会的病理が増加するという話がある。

居心地の良い家庭空間とは広過ぎて狭過ぎて問題がありそうだ。

また天井もあまり高過ぎて避けようとする傾向があるようだ。

オフィス空間では立ったままで、手を上下左右に廻して障害のない程度の空間が個人スペースの望ましい空間とされている。約7.5㎡である。

- また空間に対する国民性による共通性がある。ドイツ人は厚いドアで仕切られた空間でないとい我慢が出来ないらしいし、フランス人は放射状の中心の位置が権威があり、アラブ人はテーブル越しの対話は失礼であり息のとどく長椅子での会話を望む。イギリス人はアメリカ人程、個室を望まない。



8才児の描いた自分の家の見取図と、実際の間取図

- こうした国民性と関係なく人間が皆好きな光や色や形や空間がある。

通常の生活の中では安定感のある形、魚や鳥の流れるようなフォルム、花や葉の柔らかな質感や色彩、カーテン越しの光、木洩れ陽、小川のせせらぎやその周辺、小鳥のさえずりの聞こえる場等々。

- これらの自然界の基本的な情報は人類誕生以来、安全で安心感を与える信号であり誰もが好きなのである。
- これに対し点滅する光、燃え盛る炎、スピード感溢れる動き、激しい音、歓声など正常でない状況や空間に非常に興味を示す。これら視聴覚を刺激する状況や空間は短期的には有効なものである。
- 競技場、盛り場、市場、お祭り広場、遊園地など人間の闘争本能を刺激するエキサイティングな空間もまた好きなのである。
- 今1つは特別な空間として崇高な場、光に包まれた空間、スケールアウトした巨大空間、四方に開けた高所、密室、胎内の空間、宇宙空間など神秘性を持っている空間も又必要なのである。

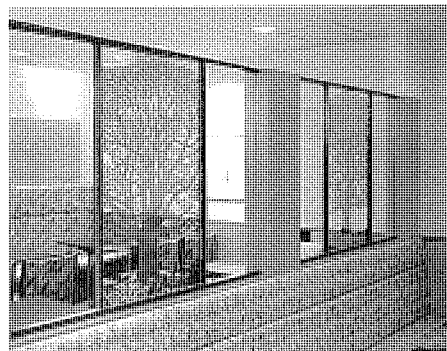
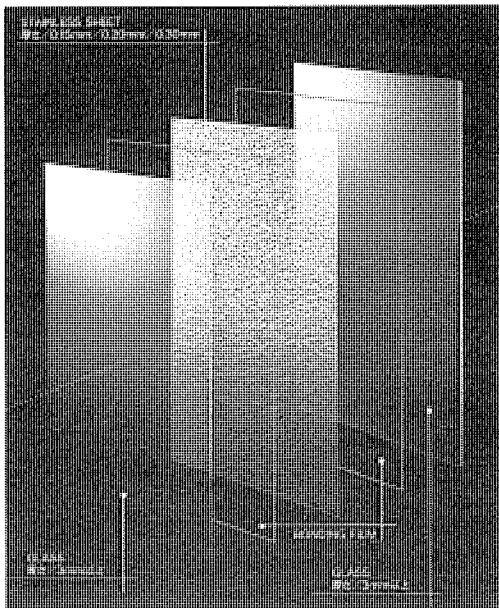
- 憩いの空間、エキサイティングな空間、祈りの空間、この3つの空間が人類数10万年の歴史の中でソフィスティケートされ、脳にインプットされた視覚情報なのである。

今、私達が「視ている空間」は正にこの歴史を通してみていると考えて良いのではないだろうか。

- 今、あなたにとって居心地の良い空間があったら、それはあなたよりむしろあなたの先祖のD・N・Aがそれを感じている空間なのかもしれない。

新空間美宣言。!!

アートサンドガラス(ART SAND GLASS)は、両面からフルエッチング加工したステンレス銅板をはさみ込んだデザイン性に優れた合わせガラスです。



デュオ こうべ/イルプリモ

人を満足させる空間とは……？
これは単純ですが、実は非常に奥深い問題です。そしてその答えは千差万別。なぜなら開いかけの動機で人それぞれ変化するからです。しかし私たちに任せ下さい。私たちがヤマスは融合というテーマでそれにお応えします。人がそれぞれの動機によって求める感性あふれた多種多様な空間づくり。それを実現するのが、ヤマスの自信のトータルコーディネート機の機動力なのです。

株式会社 ヤマス

〒542 大阪市中央区島之内1丁目4番30号
TEL (06) 251-3431(代) FAX (06) 251-3438

業界の4半世紀の中で

(株)乃村工藝社
久保 茂



百貨店 装飾 シ ン 系	見本市エキジビジョン	68	43	いざなぎ景気 霞が関ビル完成	各百貨店の ウィンドウディスプレイ 国際見本市展示ブース	86	61	ソ連チェルノブイリ 原発事故 大島三原山大噴火	なんばCITY南館 リニューアル 各所開発地区計画
	サイ ン 系 専 門 メ モ リ ウ ム 系	69	44	東名高速道路全線開通 アポロ11号月面着陸	倉紡記念館 近鉄百貨店 上本町店新装	87	62	国鉄分割民営化 ブラックマンデー (株西大轟落)	京都ミドリヤ本店新装 神戸藤原台モニュメント
		70	45	GNP世界第2位 日本隊エベレスト初登頂 日本万博開催	マックスファクター シーズンキャンペーン サンヨーショールーム 各百貨店コーナー新装・改装	88	63	地球環境問題が表面化 リクルート事件	長浜薬市、小松島ルピア OFA 京都ミツワ改装
		71	46	沖縄返還協定調印 円切上げ1ドル308円	徳島KYOYA OMM平凡社ショールーム	89	1	昭和天皇崩御 平成に改元 ベルリンの壁撤廃 消費税実施	エコールロゼ、ノパティながの ブティック心斎橋 HOSHIIYA ダイヤモンド地下街 (コンペティション参加)
		72	47	札幌冬期オリンピック	ダイエー戸塚SC ヤマハオーディオフェア 阪急5、心斎橋PARCO サンコーフォーム展示会 ヴァンジャケツトショップ展開	90	2	バブル経済崩壊 国際花と緑博覧会	広島アルパーク 南海サウスタワーホテル ブチシャンリニューアル
		73	48	第1次オイルショック	鶴屋百貨店新装 近鉄百貨店改装	91	3	湾岸戦争勃発 普賢岳で火砕流発生	パラディ学園前 をぐらや隠れ焼酎千日前店新装 ブティックLUBU ゴルフ場コンドミニアム計画
		74	49	日中国交回復	関西サイクルスポーツセンター	92	4	佐川急便事件	デュオこうべ しんかなCITY MOSAIC
		75	50	エリザベス女王来日 沖縄国際海洋博	各百貨店改装 店舗の新装、改装	93	5		アリバシティアこうべ リゾート計画 大型アミューズ計画
		76	51	ロッキード事件	藤井大丸改装				
		77	52	三全総制定 「地方の時代」クローズアップ ポストモダン起る	津駅前再開発 11番街				
78		53	成田空港開発	スポーツワールド33 なんばCITY(1期)					
79	54	「一村一品運動」起る インバーダーゲームがはやる	藤井大丸改装						
80	55	奈良大仏殿 昭和の大修理完成	なんばCITY新装						
81	56	ローマ法王来日 神戸ポートピア'81	天満屋 三原店 西武百貨店 八尾 鈴丹本社ビル新装						
82	57	東北・上越新幹線開業	ランセルブティック 西武百貨店 高槻 (ラルフローレン ・ソニアリキエル ・ミッソーニ新装)						
83	58	日米金融摩擦 テクノポリス法施行	大阪駅前アバンティ正面入口 驛面モニュメント 鳩居堂本店改装 とくしまCITY新装 CITYスポーツナラのえ 高島屋 港南台店						
84	59	グリコ事件	ショップ南海 住ノ江店 堺東店、粉浜店						
85	60	NTT・日本たばこ産業 民営化	生活遊園地 つかしん						

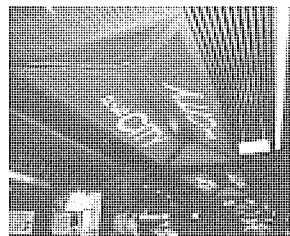
※ 記載された物件は協力参加したものも含まれています。



阿倍野近鉄百貨店外装飾



サンヨーフォーム展示会(OMM)



なんばシティ環境計画

私が入社して以来、今年4月で25年を数えるに至りました。考えてみますと、もうここまで走って来たのかと……。

時間は早いものです。先輩諸氏から、これからは1年という時間が加速されて年ごとに早く過ぎてゆくぞ、と言われている今日この頃です。

バブルがはじめて今、これから成熟社会が来つつある。時代の流れはこれからどうなっていくのか……。

今回25年という区切りでもあり、又この変化ある時代に関わっている事は非常にラッキーでもありまして、当社で関係した仕事を含めて、とこの流れを見てみたいと思います。

昭和43年頃は、見本市が全盛で特に国際見本市は東京の晴海会場、大阪の朝潮橋港会場で隔年行われていた。ここではまず掃除すること、ブースのパラペットに切文字を貼付けるのが新人の仕事で、当社の施工していた全てのブースを徹夜して取り付けたのを憶えている(余談ですが、その頃先

輩に連れてってもらった赤坂の“ムゲン”はカルチャーショックを受けました)。海外の見本市では、輸出振興、貿易拡大に参加する企業も多く、このブースデザインには展示資材を分割、ユニット化して輸送する設計が必要とされていました。

最初に完成した私の作品は、北浜三越のウィンドーディスプレイでした。クライアントとテーマやデザインの打ち合わせ、提示された予算の調整、マネキンや装飾材料の選定など、又現場当日は売場のウエアや小物をピックアップして、ベテランの大工さんにピンワークの指導を受けながら夜中に完了。堺筋からみたウィンドーは暗闇の中で華やかな色彩を放って、それはもう大感激でした。この頃は高島屋のウィンドーディスプレイは常に注目され人気があったようです。その後、時代の流れとともに店舗や百貨店のオープン化が進みウィンドーが少なくなっていく。しかし、近年では「御堂筋ウィンドー・コンクール」も毎年開催され10年、街を楽しく美しくさせている。

昭和45年高度成長期に日本万博が開催され過去最高の入場者を数えた。この中でもスイス館、アメリカ館、フランス館等、それぞれの趣向を凝らして我々業界はもとより来場者にインパクトを与えた。

昭和47年より、さらに沢山のジャンルの仕事が増え、高度成長期の真直中の私も我武者羅に突き進み、とにかくいろいろなものを呑み込んでデザインをした時代です。この時期に今の私が形成され、各百貨店の改装・専門店・ショールーム・展示会や見本市・サイン等多岐にわたる仕事内容を経験した。

昭和55年前後では、全国に店舗展開を計っていた鈴丹の本社ビル・ダイエー大型専門店スポーツワールド33、南海電鉄なんば駅高架にともなう大型SC、なんばシティの誕生。これらはMDコンセプトや環境デザインコンセプトをより強く打ち出していった物件であったと思われる。この頃舟橋ららぼーと、東急109、西武スポーツ館、ナビオ阪急・アクスシ等が続きオープンしている。それから後は、従来の大型資本中心の施設作りだけではなく、地元主導型SCや、商業機能を核とする再開発事業も行われ、遊休地の有効活用、高度利用へと移り、昭和60年以降には生活遊園地つかしん、長浜楽市、OPA等が誕生した。平成以降、SC計画においても面積優先の考え方が見直され、エンターテインメント性、アミューズメント性を重視する方向へと変わり、開発における事業側面にも変化が現れ、今までの商業系による開発だけでなく、不動産・総合商社などがデベロッパーとして事業参入していった。これには、パラディ学園前、MOSAIC、しんかなシティがある。これからは、ライフスタイルの広がりによる消費文化の成熟ともなっていて、単にショッピングや飲食機能だけでなく変化を確実に掴んだニューライフスタイル(新しい価値観と情報の発信)を主張する商業施設、環境創造を行わねばならないであろう。

今や波は、大波や小波もあるが、さまざまな波が重なり合って効果的に一つの大きなうねりとなって動いていく。それを見定めるためにも、我々は体力と知力と理力のシェイプアップを急がねばならない。

【参考文献】ディスプレイ100年の旅(乃村工藝100誌)



ボディソニックの空間づくりは
人の心のスペーシングです。

体感音響システム、カラオケCCTVシステム等、
AV関連システムをトータルでご提供いたします。

ボディソニック株式会社 大阪支店

〒542 大阪市中央区南船場3-4-26 出光ナガホリビル4F TEL.06-252-6931(代表) FAX.06-252-6933

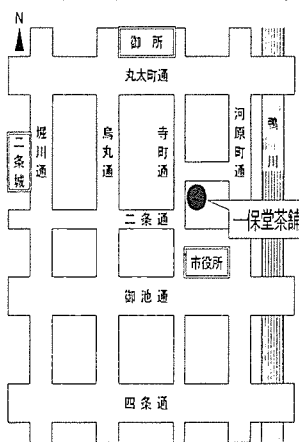
一保堂茶舗

〒604 京都市中京区寺町通二条上ル TEL. 075(211)3421
 FAX. 075(241)0153
 営業時間 午前9時～午後7時 休業日 日曜・祝日
 (夕方6時まで留守番があります)

夏しつらいの白い暖簾が、2階の黒壁とくっきりと対比して美しい。暖簾をくぐると黒光りする天井の梁、左に茶壺棚、正面に使い込んだ茶葉の缶が並び、いかにも、築後約120年の建物と約270年の商いの歴史を感じさせる。渡辺孝史専務に時間をとっていただきインタビューした。

店構えについては、京都しかも寺町という町環境と顧客の心理『老舗、名舗一保堂でお茶を買う』が、この構えを保っている、とのこと。『自動ドアをつけて、エアコンをつけた方が従業員にもお茶の品質管理にもいいのですが、そうはいかないんです…!』。いやいや、是非このままよろしく!お茶の売上高は、昭和30年代を最高に近年、下がり気味とのこと。最近出廻っている缶ドリンクで伸びが期待できるか!そこで、お茶の将来性についての話題となった。昭和生まれの世代は、子供の頃より日本茶に親しんだが、平成世代の子供達は他のドリンク(ミルク、ジュース、コーラ、烏龍茶等々)が主たる飲料となってきた。一方、専務『お茶がコーヒー、紅茶と違い無料の飲物であるという習慣と意識の改革が必要では…』その意味では、日本茶の缶ドリンクが、お茶の有料化であり、若い人達が、今までとは異なった意識で日本茶に親しむのでは…!。一方、専務『よく社長が言うのですが、大概の日本人も、お茶の本当の飲み方を知らないのではないかと…。

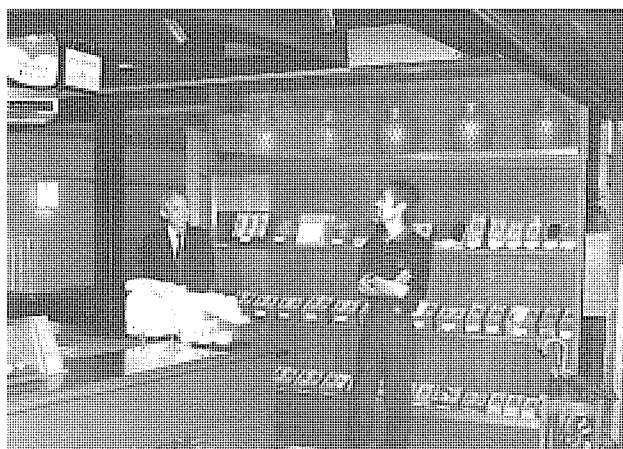
そこでお茶がこんなに美味しいものだと分かっていただけの場所を提供する事も考えているんです』。水野『これからの時代が、感覚を大切にできるようになるなら、美味しいお茶を良い環境で戴けると、お金を払っても良いという時代になりますよ…』。等々。実に美味しい玉露を一服戴いて店を出ると、今年の梅雨時期初めてのじゃじゃ降りの寺町通りでした。(小宮)



白い暖簾と黒壁・黒瓦が日本を感じさせる。



茶渋色のエプロンと姉さん扱りが可愛い。



渡辺専務と水野会員

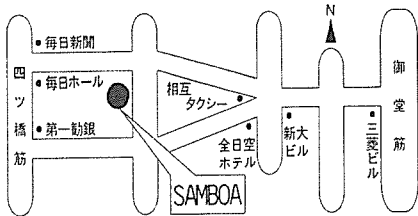
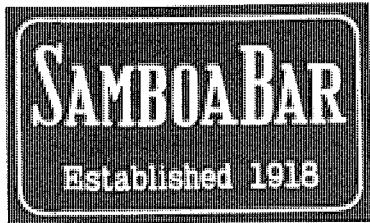
真素材・真環境 人にやさしい環境創造

ABC商会のショールームにいらっやいませんか。

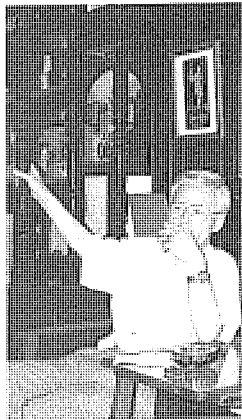
SHOWROOM

札幌011(231)7060 仙台022(263)9966 東京03(3507)7117 名古屋052(263)1455 大阪06(943)2839 広島082(243)8228 福岡092(272)3122
 大阪南営業所:大阪府中央区大手前1-7-31OMMビル8F TEL.06(943)2831

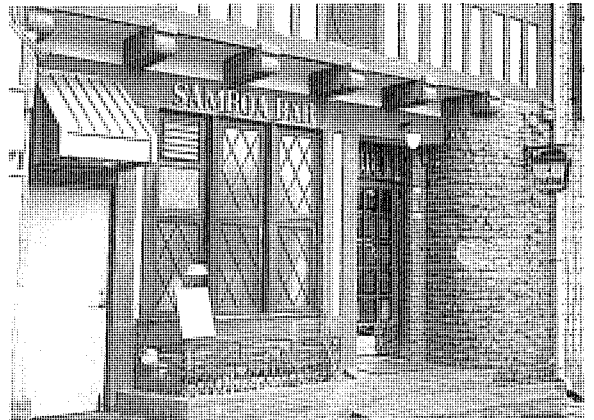
ABC shokai



堂島サンボア 大阪市北区堂島1-5-40
 TEL. 06(341)5368
 営業時間 平日 PM 5:00~11:00
 土曜 PM 4:00~10:00



鍵澤 正氏



クラシックな雰囲気ファサード

サンボア・バーの歴史は、神戸花岡町に端を発し1918年（大正7年）にさかのぼる。サンボア・バーなる店は、各々しかるべき歴史の経過を経て生まれ、現在大阪に6店・京都に2店存在している。

この堂島サンボアは、昭和10年(1935年)中之島に創立され、旧毎日新聞社南に店があったのを、昭和22年に現在の場所に移した。昭和32年に2階建となり、3年前に奥を一部増築したが、バー部分は補修をしながら当時の形を守っている。

カウンター部分は昭和32年当時のままである。先代より引き継がれた店主鍵澤氏に、昭和20年代の当時の様子を伺うと、周辺はバラックの建物が多く、近くに米相場があったり進駐車の施設やヨット乗り場があったり、また勿論現在のような高い建物もなく水都祭の花火まで見えたという。昭和25・26年頃は、中之島の水も綺麗で泳げたそうである。

現在の歓楽街の“新地”の状況とは想像もつかないお話であった。

SAMBOA《サンボア》の名前はZAMBOA《ザムボア》、ポルトガル語のザボンの意からきている。創始者が愛読していた北原白秋の詩集から命名したという由来がある。

古い馴染みのお客は20年以上の方もおられるそうだが、最近では若い人達や女性のお客も多いそうで、連夜の賑わいをみせている。

永い時を経てきた空間は、何故か何時も最初から親しみとくつろぎを与えてくれる。この店でお酒を楽しみながら“いい時”を過ごした人達は、きっと何時までもこの雰囲気のままでと望んでいるに違いない。



昭和32年当時からカウンター部の絵皿は、毎年デンマークより取り寄せる。鍵澤氏のコレクションでもあり、店の歴史の一つでもある。



鍵澤 正 氏と常客会員。古い記念ボトルが数々見られる。

楽省施工
 100Vプラグタイプは、既設の100Vライティングレールにワンタッチで接続ができます。

楽省エネルギー
 ローホルーチェ12V50Wタイプは高効率で高照度、しかも経済的です。ハロゲン100V85Wタイプに比べて明るさはほぼ同等のうえ、約41%の省エネで寿命が2倍になります。

東芝ライテック株式会社
 〒140 東京都品川区南品川2-2-13 南品川JUNビル ☎(03)5463-9771

新カリキュラムのもとで

去る昭和60年の4月から、今まで30年間、ディスプレイを中心とした空間計画デザイン、設計を経て、大阪芸術大学デザイン学科に招聘され、新しくディスプレイデザインコースのカリキュラム作成からスタートして1ヶ年の準備を経て専門コースの入学試験を実施し、今日まで少ないながら、卒業生を送り出しております。180度の仕事の転換には確かに迷いもあり、立場が変わってきましたが、会社の組織の中で多くの社員達とやって来た現場の中から、この機会に一人のデザイナーとして研究と教育の場を与えられた私にとって、諸先生方との指導の組み立ての中で、その根幹と指導内容の応用を少しずつでも良い方向に舵取りをしている今日です。

大学教育はその4年の間に決められた単位を取得しなければならず、文部省の指導方針の基に大学毎の特徴をカリキュラムに反映するよう推進しています。当大阪芸術大学では芸術学部の中に13学科が併設され、美術、工芸、建築、写真、映像、放送、芸術計画、環境計画、文芸、音楽教育、音楽演奏、舞台美術、そしてデザイン学科の構成となり、芸術創作を通して、より専門の教育を受ける事が目的であり、大学院も芸術研究科として存在しています。一般教養科目は、諸先生方のユニークな専門科目が86単位加わっています。私も専門教養の講義として「博覧会計画論」を半期開講し、今日的な演出空間の創造という切り口で視覚を基本として展示、体験の要素を計画する博覧会について、歴史的な変遷、未来の博覧会のイメージを論じています。

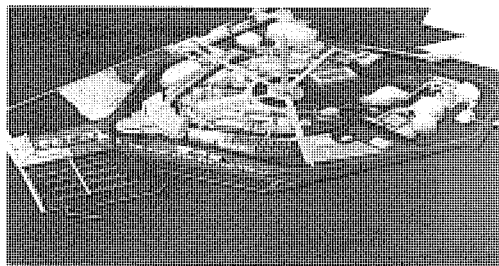
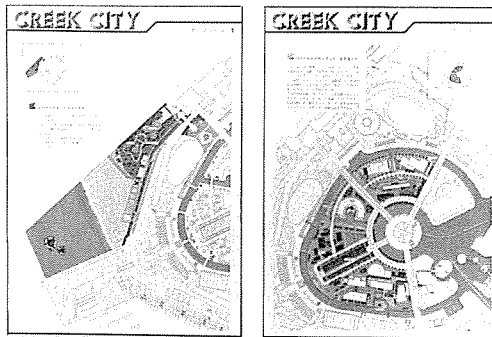
6年前までデザイン学科の中でディスプレイデザイン、それも『もの』を空間に構成する感覚、情報メディアとして捉えるディスプレイ分野の担当の教官がなく、私が招聘されたのもデザインが社会の中で確立している分野であることの認識から、それを教育の上で体系づけることであります。

環境をメディアとして考えた場合、その現実には商環境、ショールーム、ショウウィンド、展示会、博物館、資料館、博覧会、アミューズメント、サイン、イベント等、私達の生活空間の中に存在します。夫々のデザインの発想の基本と、そのプレゼンテーションの技術はレンダリング、設計、材料、色彩、模型、VTR、コピーライト・CG等、多種多様な技術があります。それらの表現力は、基礎的発想の上に立ち、更にそれは今の社会の中での位置づけ、人間性と物の価値観、人々のコミュニケーションの上に立った創造性と美的構成にあります。過去の歴史から今日の変化を知り、何を創造するのか？ そのために湧いて出る問題点と解決の手段を模索していく各学生の指導に明け暮れております。

夢を持ち、それが現実の仕事に結びつく社会人の一歩手前は、少なからず私の経験と一人一人の学生の隙間を埋めてやることだと考え、ゼミを進めます。幸い、私にとってコース卒業の第一期生は、その卒業制作と卒業展でグランプリを獲得し、(株)赤松店舗研究所へ入社し、他も有名会社に多数お世話になっております。この卒業制作の展示作品の制作指導は過日執筆された吉田博文先生にもお力添えをいただきました。

来年からは、デザイン学科の中でインテリアデザインと合併して、スペースデザインコースとなり、他のグラフィック、プロダクト、情報(CG)のコース編成と専門教育の実習、講義、演習を組み立てて、毎年20名前後の学生をゼミ講座で卒業させていくことになります。180度転換した今日の私にとって、これからの私達の業界社会の中に天職として活躍してくれる望みを持ち続けて、1週に3日間教壇に立つ生活です。その間は調査、提案、デザインのコンサルで実社会とのジョイントを続けております。教育をする側は即、教育を受ける側に自分を立脚させねばならないと考え、実行していく毎日です。

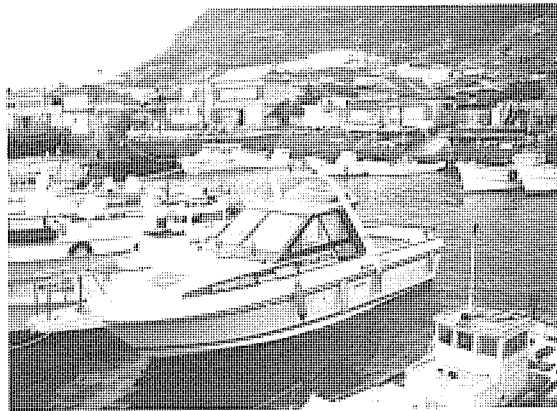
太田眞昭デザイン研究室
大阪芸術大学 教授
太田 眞昭



東リストーン
大地を
そのまま
全60種



西日本営業開発部 〒549 大阪市中央区大手前1丁目7-31 OMMビル7F TEL 06(943)1645
大阪ショールーム 〒540 大阪市中央区大手前1丁目7-31 OMMビル7F TEL 06(943)1641
本社・石材部 〒664 兵庫県伊丹市東有岡5-125 TEL 06(494)6626



「海に出ませんか！」

(株)アルファジャパン 藤永 肇

JCDの皆さんの中にも海の好きな方も多いと思いますが、私も数年前から身分不相応なボートを所有して海で遊んでいます。海の遊びと言うと水上スキー、スキューバダイビング、トローリング、セーリング、船釣り、クルージング等色々ありますが、私は、クルージングを中心に目的地近くで釣りをするのが主です。クルージングと言うのは、車で言うドライブのことで、いろんな道具を準備しなくてもいいので気軽に行けます。

最近よく行く場所は、姫路の沖台、家島諸島の中にある男鹿島の民宿で、捕れたての魚料理を味わっております。大阪から2時間、車で行くより早く行けます（もっとも島ですので車では行きませんが）。海の上は渋滞も信号待ちもありませんので気分爽快ですよ。

天気のいい海は極楽です。しかし朝天気が良くても午後から急にしけることもあります。その時は、天国と地獄でハンドルを必死に抑えてマリナまで帰ったこともあります。しかし、また、すぐに海に出たくなります。それだけ、何か分からない魅力があるのです。細心の準備と決断力が船長の最低限の資格だと言いますが、まさにその通りだと思います。今年も梅雨明けと共にシーズンに入りますが、またいろんな所へ行きたいと思いますので、ご一緒に海に出かけましょう。

「海中は驚きの世界！」

(株)船場 馬田 勲

めばる（目張）—— 好奇心があり、初対面では必ず、お前何者かと、5秒位私を見る。瞬間1m程離れて必ずまた見返る。回遊魚でないので自分の縄張りから離れない。

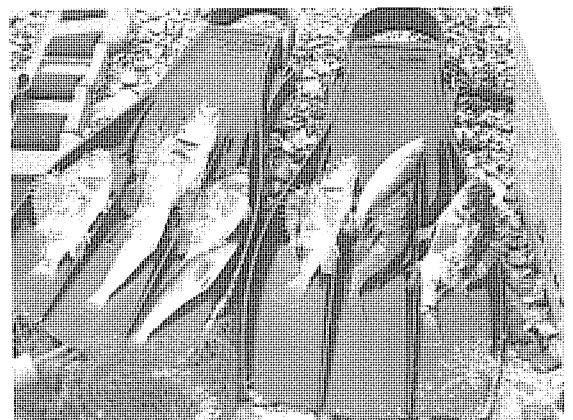
あいなめ（鮎魚女・おぶらめとも言う）—— 磯付きの魚で小さな岩と海草があれば、必ず体を曲げて寄り添っている。自分は完全にカムフラージュされていると思っているので、ヤスで突かれるまで動かない。あいなめの30~40cmクラスを「ポン」と言い、これ位大物になれば水深4~5mのテトラポットの底に潜み、なかなか外に顔を出さない。午前中の彼らの食事時間の1時間のみ、薄暗い寝ぐらからそっと出て来る。

明石蛸 —— 住処は岩と岩との間、奥の方である。これは、その近くに貝殻がばらまかれているのですぐに発見される。四六時中、寝ぐらにいるわけではなく、特に夜行性であるので昼間は表に出ない。しかし、早朝には一度現れるので食卓行きのチャンスはある。彼らは吸盤という武器を持っているので、一旦穴に入ると絶対捕れない。

ゴンズイ —— 体長6~8cm位の、猛毒を持った魚でサッカーボールの様に200~300匹が丸くなって移動している。その中に手でも突っ込んだら大変である。1週間は入院か？

いそぎんちゃく —— ひと夏に最低2~3回やられる。この触手に触れると一瞬電気ショックの様なものを感じ、2、3日後ミミズ腫れになり、やがて膿を持ち出す大変な代物である。

我が家から自転車で5分の所に私の求めている桃源郷がある。素潜りで30年を暮らすと、瀬戸内海は第二のふるさとである。人間が住めない海中には驚きの世界が無限大にある。五月の連休から11月までの私の健康法である。



●設備設計監理に注意●



株式会社 英進 渡辺 彰

私が株式会社英進に入社して間もない頃の話ですが、今から15年前に神奈川県で、ある路面店の靴店を手掛けた時の話です。

私が現場を一度も見ずに、上司から現場監督としてA靴店に行く様にと言われましたので、私は図面を頼りにして現場に行きました。行く前には上司から今回の現場は新築工事で建物は地元工務店で進められ、内装工事については自社が請け負い、工期も無いので工務店と協力して現場を進める様に、とのことでした。

最初、現場は工務店と協力しながらスムーズに進んでいました。ところが、途中で電気の容量が足りないことが分かったのです。図面の内容通りには、電気が全てつかないのです。調べてみると、分電盤は図面通りの容量でいけるのですが、何と、外の電柱のトランスに容量が足りないと言う事が分かったのです。現場経験の少ない私は、びっくりしてすぐ地元の電気業者に何とかお店のオープン日までに間に合う様にと、お願いにあがったのですが、関西電力に申請して、トランスを替えるのに1カ月かかると言われました。

私はどうしようもなく、お店はウインドと基本照明の部分だけはつきましたが他はつかず、オープンと言う事になりました。私は施主に平謝りの連続でした。たまたま良い施主に恵まれたのが幸いで、事は大きくならず3週間後に電気は全てつきました。結局、地元工務店と自社の打合せミスにより起きたことでした。結果、現場監督として行った私にも責任があり、深く反省し、以後この様なことの無い様に、地元工務店との工事の時には、十分気を使う様になりました。

今でも、若い人達に時々、電気容量には気を使う様に言っています。この苦い経験は若い時の話でしたが、現場で目に見えない設備関係についても、念には念を入れて、気を使いたいものです。

●仕事を失うまでに至った失敗例、二題●



レngoオ設計事務所 吉岡 憲司

(その1) 地方の魅力ある年配の社長。頑固なところは魅力でもあった。精一杯の仕事で、延べ5回目の改装オープンも無事終了。「この店が続く限り、設計は吉岡と遺言してやる」と喜んでもらえた。とても嬉しく思った。なのにタイミングを失い、設計料を貰いに行くのが半年後になってしまった。「せっかくな仕事をして、これでは駄目だ」初めて見る、苦言を呈する厳しい社長の顔があった。その時以来、仕事は途絶えた。社長は既に亡くなられた。改めてお詫びする機会も失ってしまった。設計料を手渡す時にこそ、その社長のとびきりの笑顔がいつも付いていた。振込は一切無かった。今になって思えば、あの笑顔を見たくて仕事をしていたのにと残念である。

(その2) 1日に異なる二店舗の打合せをした。二店舗共、マスタープランは約10日間程前に渡してあり、状況は似ていた。午前中に打合せをした店は、実に適切な検討が重ねられており、充実した10日間が図面に重なり、店の設定の方向がはっきりと見え、夢が膨らんだ。気持ち良く、次の打合せの店へ約3時間、電車に乗り移動した。そして、次の店の打合せが始まった。驚いた事に、集まった社長とスタッフ3名は「さあ、今から打合せをしよう」と言う感じで、10日間は何も打合せをしていない風である。あれほど急いで10日前に渡したプランは、今日持って来ても同じと言う状況だった。しばらくは4人のやりとりを聞いていたが、まとまりそうもなく次第にいらだった。遂に私は午前中の打合せした店の丹念な資料を見せて、10日間にやれる事を示した。そして「その店に比べ、レベルの低い店でこうだ」と余計な事まで苛立ちが言わせた。社長のプライドを傷つけてしまった様だった。二店舗の対比が鮮やかだった為に起きてしまった様に思う。案の定その後の仕事は途絶えた。

以上二件は、約30数年の中でも、やり切れない思いの失敗だ。いっそデザイン上の失敗なら、やり直しも効くが、こうした人間としてどうかと言う問題はやり直しが効かない。せめて、その後の仕事に生かし、二度と繰り返さない様にと努力している。長い旅の途中で得たものも多いが、失ったものの方に気がいく年頃になった。

■北陸支部だより

北陸支部長 小野木 裕

平成5年6月19日～20日 中部支部研修会のお手伝いで北陸支部全員総出演（と言っても少数）で中部の幹事会員と連絡を取りつつ合同研修と銘打って実施（JCD中部支部・北陸支部合同6月例会）。

初日正午 金沢駅前を出発して、今回は金沢を見るより能登の様子をと観光バスに寿司づめ乗車、雨けむる半島の左は海、右は山の緑に囲まれて輪島へ……。

輪島の旅館は主人が変わり者とかで、昔の三文宿を漆塗でまとめた民宿の旅館。全員ザコ寝は余り好きではないけ



能登島ガラス美術館

魚、それに焼け石を入れてアッアッ料理。実はその間、講師との食談にもなり、漆塗の特技・特徴について各会員から様々な質問など飛び出し誠に有意義。

一通りの所で食事は終わり、次はJCD本来の懇談に入る。お互い顔馴染ではあるが自己紹介から入り、関西支部の大菅会員を中心にJCDとは何だ!! 皆々大変だよな、の連発で地酒のせいもあり大いに盛り上がり10時頃解散。

翌朝、北陸支部会員の車に分乗。朝市の見学、漆美術の喫茶店、そして能登半島をおさらばしました。



輪島の朝市

れど、中部・北陸・関西支部会員の又と無い交流の機会なので、出来れば同じ釜の飯を食べた方がいいし、お互いのいびきの特徴など知っていた方が将来役に立つと思うので……。輪島でも相当手広く仕事をしている方で、なかなか漆にも詳しい大向 稔氏に肩の凝らない話を一席お願いします。

さて、夕飯は、古いけど本物の輪島塗の食器に、朝捕れた魚とカニと山菜料理、石焼きカニと、椀の中にいしと

●出席会員 中部4名/北陸6名/関西4名

★来年のJCD総会（1月29～30日）は金沢開催と決まりました。

北陸支部会員31名全員に受持ち部署を取り決め、数回会合し先ず理事会の場、セクション開催会場、そして各理事他の宿泊ホテル、総会出席者の宿泊準備と万全を期して準備開始。



ZONE SERIES

劇的演出効果

“ZONE”シリーズ

照度7倍、コスト半減のハイパワーライティング
— 新登場!! —

「舞台照明のようなパワフルでエキサイティングな照明を」との要求にこたえて登場した“ZONE”シリーズ。大型でランプ寿命が短くメンテナンスも複雑な舞台用の照明器具と異なり、光源や配光などのすべてを商空間に適したスペックで満たした、まったく新しいタイプのライティングツールです。しかも、300Wで85Wタイプ(当社従来品)の約7倍の照度を実現しながら、85Wタイプの多灯使用と比べてトータルコストを約1/2におさえることができます。商空間にジャストフィットするコンパクトなボディー、ハイパワーと経済性を兼ね備えた“ZONE”シリーズで劇的演出効果をお試しください。

■“ZONE”シリーズの詳しいパンフレットを用意しております。ご入用の方は当社までご請求ください。



maxRAY
A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社
■本社/大阪市城東区鶴野西2-18-6 〒536
TEL.(06)967-0140

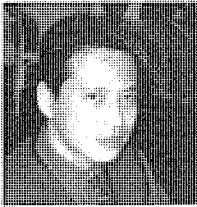
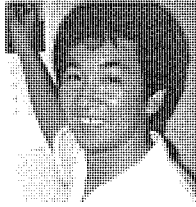
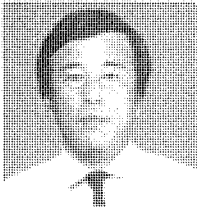

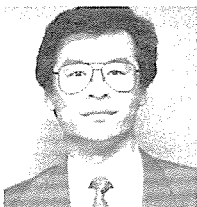


■TOKYO (03)3791-2711
■OSAKA (06)967-0123
■NAGOYA (052)252-9556

■KYOTO (075)255-5663
■FUKUOKA (092)431-7824
■HIROSHIMA (082)239-3972

J C D 関西 新入会員のご紹介
 今年の新入正会員 7 名と支部新協賛会員 6 社をご紹介します

新入正会員

(注)アイウエオ順に記載しております。

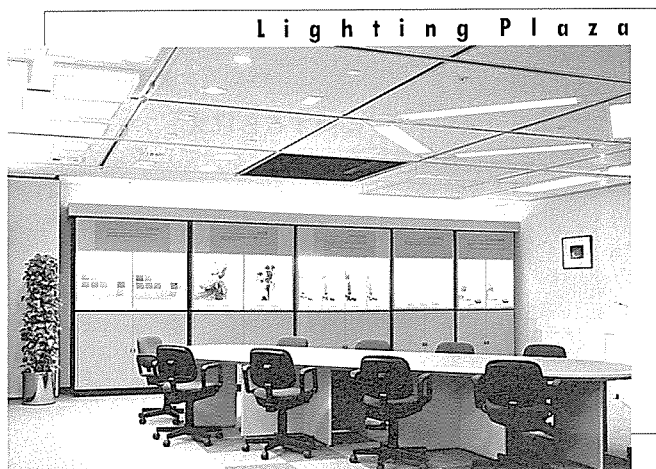
 <p>会社名：(株)地域開発総合研究所 開発企画課長 住 所：〒650 神戸市中央区東川崎町 1丁目3番3号 神戸ハーランドセンタービル16F ☎078(360)0913 紹介者：西脇 顕正 神戸 一生</p> <p align="center">内田 巧</p>	 <p>会社名：(有)横山建築事務所 代表取締役社長 住 所：〒662 兵庫県西宮市久保町10番 4号 ☎0798(33)3115 紹介者：原川 公一</p> <p align="center">横山 嘉夫</p>
 <p>会社名：(株)オーク建築研究所 代表取締役 住 所：〒531 大阪市北区中津1丁目 18番6号 ☎06(373)3813 紹介者：大菅 満義</p> <p align="center">大西 久晴</p>	<p align="center" rowspan="6">支 部 新 協 賛 会 員</p> <p>会 社 名：エルエスアイ株式会社 大阪支店 住 所：〒532 大阪市淀川区宮原2丁目14番14号 新大阪グランドビル2F ☎06(397)9092 業 務 内 容：建材製造・輸入・販売 連絡責任者：主任 稲本 賢一</p>
 <p>会社名：(株)アグリス 推進第一部 課長 住 所：〒550 大阪市西区北堀江2丁目 2番6号 ☎06(535)1687 紹介者：秋山 功 白井 進</p> <p align="center">辻村 保計</p>	<p>会 社 名：G S C グレートストーンコーポレーション 住 所：〒573-01 大阪府枚方市津田2586-58 ☎0720(59)8159・2981 業 務 内 容：設計・施工・建築石材全般 連絡責任者：上田 廣見</p>
 <p>会社名：(株)フジタカ 課長 住 所：〒617 京都府長岡京市神足神田 15 ☎075(955)9905 紹介者：山本 喜三郎</p> <p align="center">出口 巳幸</p>	<p>会 社 名：世界長株式会社 化成品事業部 住 所：〒663 兵庫県西宮市津門大筒町5-19 ☎0798(26)5725 業 務 内 容：各種ゴム、合成樹脂、建材、製造・販売 連絡責任者：田辺 泰雄</p>
 <p>会社名：ZOOM計画 代表 住 所：〒531 大阪市北区豊崎2丁目10 番17号 サンオークスビル401 ☎06(374)2857 紹介者：野村 武彦 川口 隆男</p> <p align="center">豊田 文生</p>	<p>会 社 名：有限会社 ゼータ 住 所：〒630-01 奈良県生駒市南田原町1230-87 ☎07437(9)3122 業 務 内 容：建築用石材の輸入・販売 建築石材設計・施工 連絡責任者：代表取締役 山岸 秀一</p>
 <p>会社名：(株)野田 取締役 住 所：〒550 大阪市西区立売堀5丁目 1番 プライムハイツ阿波座 ☎06(543)6510 紹介者：野村 武彦 野田 秀雄</p> <p align="center">野田 真規</p>	<p>会 社 名：ボディソニック株式会社 大阪支店 住 所：〒542 大阪市中央区南船場3丁目4番 26号 ☎06(252)6931 業 務 内 容：体感音響機器の研究開発・製造販売 AVシステムの企画・設計・販売・施工 連絡責任者：主任 川崎 弘嗣</p>
	<p>会 社 名：株式会社 ヤマス 住 所：〒542 大阪府大阪市中央区島之内1丁目4番 30番 ☎06(251)3431 業 務 内 容：ステンレス・非鉄金属・アートサンドガラ ス～素材全般・販売・建築現場金物、美術 装飾金物・住宅機器、製造～制作、施工 連絡責任者：妻鹿 恒夫</p>

日本のあかりの創始者として、
さまざまな分野で、快適で先進的な光環境の新提案を。

時代の流れとともに、人々のライフスタイルは変化しています。さらに、産業・流通機構の複雑化も顕著になってきました。そんななか、暮らしのあかりをはじめ、商空間、オフィス空間、各種施設と、さまざまな分野で照明は重要な役割を果たしています。

日本ではじめて白熱電球を国産化した当社は、そんな刻々と変化する時代状況を踏まえ、次代のあかりの在り方を絶えず提案してきました。いまでは、照明電材商品にとどまらず、情報システム機器、エレクトロニクス機器、産業用やバイオ関連機器と、幅広い分野に進出しています。

このように東芝ライテックは、ランプ、器具、システムの総合メーカーとして蓄積された開発技術力、製造技術力を存分に駆使し、多様で変化の激しい店舗業界のニーズに応えながら、より快適で先進的な商環境づくりにチャレンジしています。



東芝ライテック株式会社

本	社	〒140 品川区南品川2丁目2番13号	電話(03)5463-8772		
総合技術開発センター		〒237 横須賀市船越町1丁目201番1号	電話(0468)62-2025		
東	京	支	店	〒140 品川区東品川4丁目3番1号	電話(03)5479-1002
中	部	支	店	〒460 名古屋市中区栄2丁目10番19号	電話(052)203-5226
関	西	支	店	〒541 大阪市中央区本町4丁目2番12号	電話(06) 244-2810
九	州	支	店	〒812 福岡市博多区博多駅南2丁目9番11号	電話(092)473-2612

トレンドを創る。


多方面にわたるボディソニックシステムの導入は、さまざまなノウハウを積み重ねてきました。これらの経験と実績を活かし、新しいビジネスのあり方に挑戦——。これもボディソニック社の積極的な姿勢です。その一例として、ひとつの部屋から建物全体、さらに土地の有効活用まで幅広いプロデュース業務があげられます。ここでは、コンセプトメイクからプランニング、施工、さらにアフターケアまでを一貫してサポート。古いビル全体をリノベーションし、「パーソナル・リラクゼーション」をテーマにした収益性の高いホテルとレストランを開発したり、「歌とパーティ」をキーワードにボディソニックシステムを活用した新しいコンプレックス型のパーティスペースの業態を開花したりしています。



Bodysonic Osaka Showroom

Presented by
BODYSONIC

ボディソニック株式会社
大阪支店・ショールーム／大阪市中央区南船場3-4-26出光ナガホリビル4F 〒542 T E L 06-252-6931(代)

●「BODYSONIC」及び「ボディソニック」はボディソニック社の登録商標です。
●はボディソニックの効果あらわすシンボルマークです。

理事会臨時報告

理事長 武石 馨

★協会事業「SECTION」に関する日経ストアデザイン
の紹介記事、会の見解表明等、理事会処理事項の報告
ご承知のように、協会主催の公開シンポジウムSECTION
は本部特別委員会の担当により、去る2月、東京開催を
第1回として出発しました。

開催に当たっては、会員皆様にご通知の計画主旨並び
に要項を関係誌紙に伝え、誌上紹介をお願いしましたが、
その際同誌2月号の紹介記事は、会提出の計画主旨の説
明もなく、関係取材の適正さを欠いた解説など、結果的に
会の社会的立場を誤解させるものと思われました。

本部としましては、会ならびに会員にとってこの問題を
重く見て、以下のように早急な対応処置を進めました。

1. 実行委員会の関係取材事情の確認
2. 同誌に対し、理事長名書面による善処方処置の申入れ
と、同誌責任者との協議
3. 常任理事会による問題点の協議、会としての見解表明
の同誌掲載を確認
4. 同誌4月号に会見解表明の掲載発表、上記の経過によ
り、5月15日開催の理事会におきまして、同見解表明を
了承しましたが、併せて会としてのマスコミ対応体制
の整備を確認事項としました。

以上のとおり、この問題についての対応経過、ならびに
処理の結果を理事会として会員各位に報告することとしま
したので、よろしくご了承いただきますようお願いします。

賛助会員懇談会報告

'93. 6. 11.

[参加者] 松下電工(株)・ヤマギワ(株)・(株)エービーシー商会・
(株)セルコン・(株)タジマ・レッドコーポASA I・(株)キノシタ
(2名)・小泉産業(株)(3名)・マックスレイ(株)・(株)タケデン
(株)ヤマス・(株)船場・グレートストーンコーポレーション・
(株)日照・ニッポ電機(株)

要支部長による開会挨拶に続いて蔭山理事の懇談会主旨
説明、山田、野村理事・大菅評議員の挨拶から、今日の主
旨である三委員会年間行事説明が各委員長から発表された。
賛助会員とJCD会員とのコミュニケーションを計り、ま
た各会員の能力向上触発を目指して計画されるこれらの行

事に賛助会員として参加するに当たって、内容・何日・何時
頃曜日・費用など参加要因の忌憚のない意見の聴取が行わ
れた。

主な意見内容：

★JCD全体に対して

- 開催日は月末、月初めの土曜日以外。
- 時間は午後になって午後8時頃までに終えたい。
- 賛助会員の業種による部会が出来ないだろうか(例:照
明部会・建材部会等)。
- 遊・アソビを軸としてコミュニケーションを(パーティ
・ボーリング等)。
- 色々な情報を公開して貰いたい。
- 出来る限り安価な会費で。
- ビジネスに繋がることを望む。
- 各委員会会議にショールームの使用を望む。
- 女性会員を増やして貰いたい。
- 商品開発への意見が頂きたい。

★研究開発委員会に対して

- 研究課題を設けて発表の場を造って貰いたい。
- CAD・CGの研究を考えて貰いたい。

★情報委員会に対して

- 賛助会員の情報を均等に掲載して貰いたい。

合同委員会報告

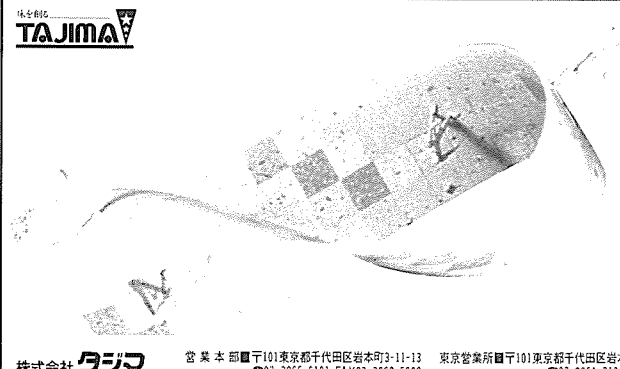
'93. 6. 11.

ともすれば内向の義務感に因りやすい協会行事を、明確
な目標を掲げて外向きに、前向きに行動していきたい旨の
支部長挨拶のあと全国理事会報告。

- 内部規定の一部改訂…旅費規定
- 会員8名の退会、1名入会
- 日経ストアデザイン2月号掲載のセクションについて
の問題記事の件、4月号にてお詫び記事掲載済
- 国際委員会発足。委員は各支部より推薦参加
- 『商環境』編集へ大阪より出向参加(情報委員長)
- 来年度総会は北陸支部にて。1月22日～又は29日～
31日で審議
- 『商環境』63号 支部でアンケート予定

★賛助会員懇談会報告 蔭山理事より

- 各意見を尊重して賛助会員を含めた行事遂行の合意で
終了。
- 各委員会の行事予定と現状確認で合同委員会終了。



人・歩・く

いつからだろう。
人が歩きはじめるのは。
どうしてだろう。
地球に重力があるのは。
いつからだろう。
人が靴をはくようになったのは。
どうしてだろう。
屋根の下に、人が暮らすようになったのは。
きつと、これからも
人は、歩きつづける。
人が歩きつづける限り
タジマは、これからも床つくりです。

株式会社 **タジマ**

営業本部 〒101 東京都千代田区岩本町3-11-13
☎03-3866-6101 FAX03-3862-5908

東京営業所 〒101 東京都千代田区岩本町3-10-12 山源ビル
☎03-3861-3101 FAX03-3861-3615

大阪営業所 〒550 大阪府西成区京町堀1-10-5
☎06-441-5951 FAX06-444-2596

機関誌の記事をきっかけに 会話を始めてください

情報委員長 里吉 明

山田担当理事とのコンビで、情報委員会運営に携わり、委員長として1年半の経過となった。KANSAIは今回で3号NEWSは既に7号の発刊となった。機関誌の発刊に伴う企画から、編集発刊までの物理的な時間と作業は莫大なものである。これらの機関誌がきっかけとなり、会員同士の交流が始まったり、協会活動の活性化やその他の新しい活動のお手伝いになればと思っている。私達の希望としては、皆様の機関誌への積極的な参加は勿論のこと、会員諸氏の発表したメッセージを自分の所だけに止めず、興味あるページだけでもよいので、コピーでもして、身近な所にPRしていただきたいと思う。そんなことから会話がつながり、交流の輪は一つ一つ強くつながって行くのではないのでしょうか。

Nashop



照明科学研究所
A&Iの松下電工



強く、明るく、美しく。
 しかもローコストのPG型。



高効率、高輝度のLEDに、高い演色性をプラスしたスカイビームPG型。紫外線カットによる商品の退色防止、トリプルシースによる外音遮断防止構造、点灯方向制限なしと使用性が大幅に向上しました。またパラメトリックルーバにより器具効率の約15%アップと締め込み高さの約6%ダウン（すべて当社従来品比）を実現。経済性とともに関照性・高演色性が求められる店舗空間に最適な照明器具です。

●ツイン蛍光灯 スクエアシリーズ
●高効率インバータ駆動 HFCシリーズ
●ローボルトシリーズ ミニLEDデッキ

SKYBEAM PG

(ハイパワーで高効率、しかも演色性に優れた松下電工の店舗照明は)
 快適さを保ちながらローコストニーズにお応えします。



●ツイン蛍光灯 スクエアシリーズ
 クラウドライトルーバで器具効率アップ
 器具が約10%アップ、インバータ駆動
 演色性95%以上 標準価格72,000円(税別)



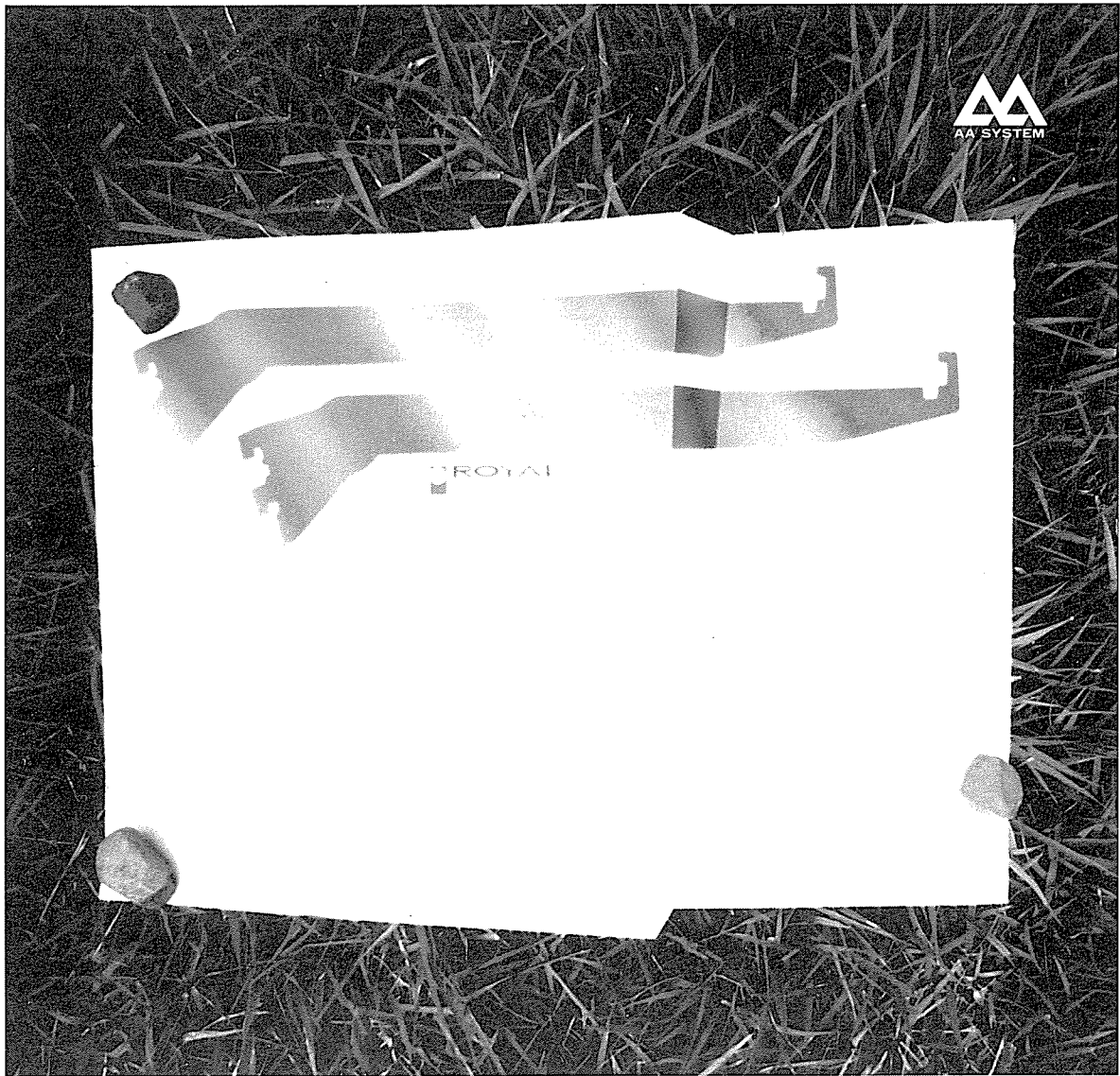
●高効率インバータ駆動 HFCシリーズ
 高効率で省エネ、しかも標準・省電工。
 器具が約10%アップ、インバータ駆動
 演色性95%以上 標準価格55,000円(税別)



●ローボルトシリーズ ミニLEDデッキ
 小器具高効率、高演色を誇るLEDカット。
 エネルギー効率
 ミニLED電球化で省エネ、ダウンライト型
 器具が約10%アップ、インバータ駆動
 演色性95%以上 標準価格44,000円(税別)

●「ローコスト照明術」のパンフレットをご希望の方は、その旨お書きのうえ下記までお申し込みください。
 及びカタログのご請求は〒571-8500 大阪府門真市門真1048 松下電工・電機マーケティング部 〒571-8508-11 まで。

National
松下電工



時代の先を歩いていた。

時代の先を支えたい。

ROYAL

本社/東大阪市長田東1丁目56番地 TEL(06) 789-1234代表 ☎577
東京支店/東京都墨田区緑1丁目7番11号 TEL(03)3634-6180代表 ☎130

編 / 集 / 後 / 記

8月初めに、本誌全頁の原稿完了と各頁の割付完了を目指してスタッフ頑張っている最中の7月21日(水)JCDサマービアパーティは楽しい息抜きのクルージングパーティーでした。その後、8月中旬に印刷所へ版下依頼、8月末の版下チェック、そして印刷…と情報委員会の協力態勢と頑張りで32号の完成をみました。原稿を速め速めと無理をお願いしました。執筆者の方々ありがとうございました。

小宮グループ